

一北海道小樽區選出議員渡邊兵四郎君ノ補選トシテ高橋直治君當選セラレ

タリ

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

地租條例中改正法律案

宅地地價修正法律案

耕地整理法中改正法律案

災害地地租特別處分法案

沖繩縣ニ於ケル舊租免除ニ關スル法律案

所得稅法中改正法律案

營業稅法中改正法律案

相續稅法中改正法律案

酒製造石稅徵收猶豫及免除ニ關スル法律案

砂糖消費稅法中改正法律案

穀物消費稅法中改正法律案

礦業稅法中改正法律案

登錄稅法中改正法律案

取引所稅法中改正法律案

狩獵法中改正法律案

砂金採取地稅法案

礦業稅法中改正法律案

印紙稅法中改正法律案

民事訴訟用印紙法中改正法律案

商事非訟事件印紙法中改正法律案

行政訴訟書類印紙貼用廢止ニ關スル法律案

明治四十一年法律第三十七號中改正法律案

製鹽地整理ニ關スル法律案

關稅定率法改正法律案

明治四十三年度歲入歲出總豫算案並明治四十三年度各特別會計歲入歲出

豫算案

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

明治四十年度歲入歲出總決算

明治四十年度各特別會計歲入歲出決算

明治四十年度歲入歲出決算檢查報告

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

衆議院議員選舉法中改正法律案

提出者 花井 卓藏君 ト部 喜太郎君

一大竹貫一君外一名ヨリ中村舜次郎君ニ係ル議員資格三付異議ノ申立アリタ

一大橋賴摸君ヨリ新聞社通信社行賞ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經ナルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

對米外交ニ關スル質問主意書

右成規ニ據り提出候也

明治四十三年一月二十日

提出者 石橋 爲之助

贊成者 入江 武一郎
外三十九名

對米外交ニ關スル質問主意書

一米國ニ於ル日本移民問題ニ就テ政府ハ何故ニ既得ノ權利ヲ拋棄シ既成ノ事實ヲ破壊シテ顧ミサルヤ

一明治四十一年中高平大使ト米國國務卿ルート氏トノ間ニ調印シタル移民協約所謂「セントラル・アグリーメント」ナルモノ、内容如何成ルベク其全文ヲ示サレタシ一溝洲ニ於ケル門戸開放及機會均等ノ主義ニ關シ政府ハ日本ノ戰後溝洲ニ於ケル地位カ戰前ニ比シテ特殊ノ關係ヲ有スルニ至レルコトヲ世界列國別テ米國ニ了解セシムルノ手段ヲ取リタルコトアリヤ否ヤ若シ之レナシトセハ其理由如何

一政府ハ東洋ニ於ル日本商業關係ヲシテ一層親密ニ且圓滑ニ進歩セシムルタメ日本協力(競争ニアラス)ノ精神ヲ米國ニ鼓吹スルノ意ナキヤ

右成規ニ據り提出候也

新聞社通信社行賞ニ關スル質問主意書

明治四十三年一月二十二日
提出者 大橋 賴摸

贊成者 恒松 隆慶
外三十名

新聞社通信社行賞ニ關スル質問主意書

一明治三十七八年戰役ノ功勞ニ對シ政府ハ明治四十一年十二月二十九日付官報ヲ以テ新聞社、通信社ニ對シ金杯若クハ銀杯ヲ下賜セラル、旨發表セラレタリ右ハ新聞社、通信社ニ對スル相當ノ行賞ナリト認ムル乎

二新聞社、通信社ニ行賞スルニ常リ金杯一組、金杯一箇、銀杯一組ノ三種ニ區別セシハ如何ナル主意ナル乎

三行賞ニ等級ヲ付セシハ政府ハ新聞社、通信社ノ經營狀態、及新聞發刊紙數高等事實ニ付テ之ヲ調査セシ乎果シテ之レカ調査ヲ遂ケタリトセハ其均衡ヲ失スル甚ダシキモノアリ政府ハ何ヲ標準トシテ此ノ等級ヲ付セラレタル乎

四各宗派ト新聞社、通信社トニ於ケル行賞ハ均衡ヲ失セルモノ、如シ而モ尙適當ノ行賞ト認ムル乎

五新聞社、通信社ノ代表者及從軍記者カ行賞ニ洩レタルハ何故ナル乎

右及質問候也

一委員長及理事左ノ通り當選セラタリ

豫算委員長 鳩山 和夫君 理事 川原義一君

理事 森田勇次郎君 理事 荒川茂輔君

理事 早速整爾君 理事 渡邊千冬君

理事 板倉中君 理事 福井三郎君

理事 翠川鐵三君 理事

理事 一石橋爲之助君ヨリ對米外交ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

一大橋賴摸君ヨリ新聞社通信社行賞ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

理事

請願委員長
理事
懲罰委員長中島祐八君
柳田清兵衛君
堀谷左次郎君
戸水寛人君小久保喜七君
大熊三之助君富島暢夫君
小泉又次郎君小久保喜七君
大熊三之助君富島暢夫君
小泉又次郎君○議長(長谷場純孝君) 御諮詢致シマス、決算委員翠川鐵二君病氣ノタメ辭任
ノ申出ガアリマス、許可シテ差支アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、許可スルコトニ致シマス、而シテ
同君ハ第五部選出ノ委員デゴザイマスカラ、第五部ノ諸君ハ速ニ補闕選舉ヲ行ハレテ
御届出アランコトヲ望ミマス、尙請願委員近江谷榮次君病氣ノタメ辭任ノ申出ガアリ
マス、許可シテ差支アリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) —— 大藏大臣侯爵桂太郎君

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、許可スルコトニ致シマス、尙同君
ハ第七部選出ノ委員デアリマスカラ、同部ノ諸君ハ速ニ補闕選舉ノ上御届出アランコト
ヲ望ミマス —— 濱田國松君病氣ニ付キ昨二十一日ヨリ向ニ一週間、東條良平君病
氣ニ付キ去ル二十一日ヨリ三週間請暇ノ願出ガアリマス、許可シテ差支アリマセヌカ○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ、許可スルコトニ致シマス ——
是ヨリ會議ヲ開キマス、内閣總理大臣侯爵桂太郎君

(内閣總理大臣侯爵桂太郎君登壇)

○内閣總理大臣(侯爵桂太郎君) 諸君、昨年此席ニ於キマシテ諸君ト相見エマシテ
ヨリ茲ニ一年、本日再ヒ諸君ニ向ヒ施政ノ方針三付キマシテ、政府ノ所見ヲ陳述致シマス
ノハ、本大臣ノ光榮トシトコロデゴザイマス、帝國ト締盟各國トノ交際ハ愈々深厚デゴザイ
マシテ、就中英國トノ同盟ハ益々鞏固ヲ加ヘマシタノハ、本大臣ノ諸君ト共ニ深ク欣ブト
コロデゴザイマス、前年來日清兩帝國ノ間ニ懸案トナシテアリマシタ満洲ニ關シマスル問
題ニ付キマシテハ、帝國政府ハ善鄰ノ交誼ヲ重んシマシテ、互讓ノ誠意ヲ以テ之が解
決ニ努メマシタルトコロ、清國モ亦帝國ノ誠意ノアル所ヲ諒ト致シマシテ、遂ニ昨年九
月日清協約ヲ決定致シマシテ、數年ニ涉リマシタ問題モ茲ニ結了ヲ告ゲルニ至ツタノデ
ゴザイマス、帝國ハ從來滿洲ニ於キマシテ門戶開放、機會均等ノ主義ヲ尊重致シマシ
テ、諸般ノ經營上其履行ニ付キマシテ遺憾ナキタ期シマシタノデゴザイマシテ、其誠意ハ
列國ノ齊シク認ムルトコロナルコトヲ信ジマス、韓國ニ對シマスル帝國ノ關係ハ、韓國銀
行ノ設立、司法監獄事務ノ委託、軍部廢止等ノ實行ニ付キマシテ、益々密接ヲ加ヘ、帝
國ノ保護政策ヲ確實ニスルコトヲ得マシタ、現行條約ノ有效期間モ最早來年ニ迫リタ
ルヲ以チマシテ、政府ハ之が改正ニ著手スルノ準備ヲ怠リマセヌ、而シテ之がダメニ現行
關稅定率法ヲ改正スルノ必要ヲ認ムマシテ其改正法案ヲ當議會ニ提出致シマシ
テ、帝國ノ財政ニ關シマシテハ昨年諸君ノ御協賛ヲ經マシテ成立致シマシタル豫算ノ實
行ニ入りマシテヨリ、僅ニ半歲ヲ過ギタノデゴザリマスケレドモ、幸ニシテ財政方針ヲ確立
ハ漸次内外ノ信用ヲ恢復スルノ效果ヲ示シマシタ、政府ハ來年度ニ於キマシテモ、固ク
既定ノ方針ヲ維持シマシテ以テ戰後ノ財政整理ヲ完カラシメンコトヲ期シテ居リマス、既
定ノ皇室費ハ二十年前ノ制定ニ係ルモノデゴザイマシテ、今日之ヲ増加致シマスルノハ

最モ適當ノコト、信ジマス、稅法ニ付キマシテハ其偏重偏輕ヲ矯メマシテ、負擔ノ均衡ヲ
計ル目的トシテ調査致シマシタ結果、最モ急務ト認メマスルモノニ付テ、其整理ノ案
ヲ立テマシテ、茲ニ之ニ關シマスル諸種ノ法律案ヲ提出致シマシタ、又物價ノ騰貴貨
幣法ノ改正ニ促サレマシテ、多年ノ問題トナッテ居リマシタ官吏ノ増俸モ、亦實ニ已ヲ得
ザルモノト認メマシタ、前年度剩餘金ノ中急要已ムヲ得ザル經費ノ財源ニ充テマシタモ
ノヲ除キ其殘額ヲ國債ノ償還ニ充ツルタメ、之ヲ國債整理基金ニ臨時ニ繰入ヲ致シ
既ニ議會ニ提出ヲ致シマシタ、諸君、幸ニ此旨ヲ諒セラレマシテ、速ニ御協賛ヲ與ヘラレ
ンコトハ本大臣ノ切ニ希望致ストコロデゴザイマス
ノ施設、運輸交通機關ノ整理等苟モ國力ノ發展ニ資スルモノニ付テハ、財源ノ許ス範
圍ニ於キマシテ、實行ニ力メマシタ、右ノ方針ニ依リマシテ編成致シマシタル豫算案ハ、
マシテ、以テ益々國債整理ノ實效ヲ舉グルコトヲ期シマシタ、其他產業ノ發達、教育上
ノ施設、運輸交通機關ノ整理等苟モ國力ノ發展ニ資スルモノニ付テハ、財源ノ許ス範
圍ニ於キマシテ、實行ニ力メマシタ、右ノ方針ニ依リマシテ編成致シマシタル豫算案ハ、
既ニ議會ニ提出ヲ致シマシタ、諸君、幸ニ此旨ヲ諒セラレマシテ、速ニ御協賛ヲ與ヘラレ
ンコトハ本大臣ノ切ニ希望致ストコロデゴザイマス
○議長(長谷場純孝君) —— 大藏大臣侯爵桂太郎君

(大藏大臣侯爵桂太郎君登壇)

○大藏大臣(侯爵桂太郎君) —— 諸君、茲ニ明治四十二年度歲計豫算ヲ諸君ニ
御紹介致シマスルノハ、本大臣ノ深ク光榮ト致シマストコロデゴザイマス、明治四十三
年度總豫算ニ計上致シマシタコロノ歲入ハ、經常部ニ屬シマスモノガ四億八千八百
九十二万九千五百六十四圓、臨時部ニ屬シマスルモノガ四千五百二十一萬三千百
四十二圓、合計五億三千四百十七万二千七百六圓デゴザリマス、其歲出ハ經常部ニ
屬シマスモノガ四億一千九十八万四百五圓、臨時部ニ屬シマスモノガ一億一千三百
十九万二千三百一圓、合計五億三千四百十七万二千七百六圓デゴザリマス、故ニ
經常歲入ヲ以チマシテ、之ヲ經常歲出ニ比較致シマスルト、六千七百九十四万九千
百五十九圓ノ超過デアリマス、是ニ前年度ニ於キマシテ經常部ノ歲出歲入ノ關係ニ對
照ヲ致シマスルト、一層良好ナル狀態ヲ示シテ居リマス、右總豫算ニ計上致シテゴザリマス
ル歲出ノ外ニ明治四十三年度ニ於テハ明治四十一年度ヨリ續延ベマシタ經費ノ中七
百五十九万九千四十三圓及臨時軍事費ノ特別會計ヨリ續越シマシタ經費ノ中七
百五十九万九千四十三圓、合計千四百三十九万五千五百三十一圓ヲ使用スルノ豫
算デゴザリマシテ、前年度剩餘金ヲ以チマシテ之ガ財源ニ充ツル積リテゴザイマス、明治
四十三年度歲入ヲ以チマシテ之ヲ前年度豫算ニ比較致シマスルニ、經常部ニアリマシテ
ハ稅制整理ニ付キマシテ、歲入ニ多少ノ減額ヲ行ヒマシタニ拘ラズ、一般經濟ノ發展ニ
伴ヒマシテ、租稅、印紙收入、郵便電信電話收入及專賣局益金等ニ於キマシテ收入
ノ增加ヲ致シマスモノト、新ニ南滿洲鐵道株式會社ヨリ配當金ノ收入ヲ豫算致シマシ
タニ依リマシテ、千八百五十七万餘圓ヲ增加致シマスガ、臨時部ニ於キマシテ三百三十
三萬餘圓ヲ減少致シマシタタメニ、差引歲入總額ニ於キマシテ一千五百二十四萬餘
圓ヲ增加スルコト、ナシテ居リマス、明治四十三年度歲出ヲ以チマシテ之ヲ前年度豫算
ト比較致シマスモノト、經常部ニアリマシテハ一方ニ於テ行政整理ヨリ各般ノ政費ニ節約
ヲ加ヘ、其他既定經費ノ減額ヲ見ルモノガアリマスルタメニ、他方ニ於テ皇室費ノ增
加、官吏ノ増俸及下士卒ノ増給、日韓協約ニ基ク司法廳、裁判所及監獄ノ新設、
日清協約ニ基ク島嶼事館ノ新設、既定ノ經畫ニ基ク事業ノ進捗及軍備ノ充實、
教育資金配當金ノ設置等ガアリマスルタメニ、差引一千六百四十五万餘圓ヲ增加致
シ、臨時部ニアリマシテハ一方ニ於テ既定繼續費年割額ノ增加ヲ致シマスモノガアリマ
ス外、道路改良貸ノ補助、北海道拓殖、韓國鐵道ノ建設改良、關門海峽ノ改良、

神戸税關防波堤ノ築造、臺灣兵營廳舍ノ營繕、軍用氣球ノ研究、鎮海軍港ノ設備及發電水力ノ調査等經濟上並三軍事上緊急缺クコトノ出來マセヌ施設ヲ致シ竝三國債償還額ヲ増加致シマシタメニ、臨時ニ國債整理基金ノ繰入ヲ増加ヲ致シマシタガ他方ニ於テ事業ノ完了ヲ致シ、既定年割額ノ減少ヲ致シマスモノガアリマヌタメ、差引キマンテ百十九万餘圓ヲ減少致シマシタ、結局歲出總高ニ於テ一千五百二十萬餘圓ノ增加ヲ見ルモノニアリマス、以上ハ明治四十三年度豫算ニ關シマシテ、其設計ノ大體ヲ説明致シマシタガ、本大臣ハ更ニ進ンテ、同年度豫算ニ關シマスル財政經畫ノ綱領ニ付キマシテ一言ヲ致サウ思ヒマス、抑戰後財政ノ調理ハ歲計ノ基礎ヲ確實ニ致シマシテ、急激ニ増加致シマシタル公債ヲ整理致シマスルコトヲ第一ノ急務ト致スベキコトハ、本大臣ノ前議會ニ於キマシテ既ニ陳述シマシタルトコロデゴザイマシテ、明治四十二年度豫算ヲ編成スルニ方リマシテハ、主トシテ將來ニ瓦リマシテ、歲入歲出ヲ整頓ヲ致シテ其均衡ヲ保チ、新規公債ノ發行ヲ避ケ、其償還額ヲ増加致シマシテ、以テ財政ノ基礎ヲ鞏固ニシ、公債ニ對スル信用ヲ厚ウシ、併セテ一般經濟界ノ調和ヲ計リマスルノ方針ヲ取リマシテ、此方針ハ幸ニ諸君ノ協賛ヲ得マシテ、戰後財政ノ整理漸ク其緒著キマスルコトヲ得マシタルハ、本大臣ハ深ク喜び所デゴザイマス、今明治四十三年度豫算ヲ編成スルニ方リマシテモ、右ノ方針ハ之ヲ動カシマセズ、更ニ進ミマシテ愈ニ適實ニ之ヲ實行致シ、以テ漸次至難ナル戰後財政整理ノ事業ヲ完了セントコトヲ期シマシタ、即チ第一ニ國民負擔ノ衡平ヲ計リマスルガタメニ、稅制ノ整理ヲ實行シ、第二ニ行政ノ整理ヲ行ヒ、政費ノ節約ヲ計ルト同時三多年ノ宿題ニアリマシタル官吏増俸、下士卒ノ增給ヲ行ヒ、併セテ國運ノ發展上必要已ムベカラザル各般ノ施設ヲ爲シ、第三ニ償還期限ノ差迫リマシタル國庫債券ノ償還ヲ便ニシ、併セテ國債ノ信用ヲ増加スルノ經畫ヲ立テマシタ、大戰役後我國勢ハ一變ヲ致シマシタルが故ニ、隨づテ國民ノ負擔が戰役前ト同シキコトヲ得マセヌノハ、今更申述ベルマデモナイコトニアリマス、併ナガラ戰時匆忙ノ際ニ、成ルベク簡便ノ方法ニ依リマシテ、租稅ノ增徵ヲ爲サントシテ制定ヲ致シマシタル各種稅法ノ下ニ於キマシテ、負擔ニ衡平ヲ失スルモノアリマスルコトハ、之ヲ否認スル譯ニ、參リマセヌ、故ニ財源ノ許限リ各般ノ稅制ヲ整理致シマシテ、民ノ負擔ニ厚薄ナカラシメヌト云フコトハ極メテ必要ノコト、考ヘマス、明治四十二年度ニ於キマシテハ、其最モ急トスル處ニ付キマシテ整理ヲ行ハントスルモノニアリマシテ、之ガタメニ生ズベキ歲入ノ減額ハ約一千万圓デゴザイマス、國防ノ大計ハ之ヲ動カスコトヲ得マセヌガ故ニ、既定ノ軍備ヲ縮小ヲ致サシメザル範圍内ニ於キマシテ、行政各般ノ整理ヲ行ヒ、事務ノ執行ヲ簡捷ニシ、官吏ノ定員ヲ減少シ之ニ依リマシテ政費ヲ節約致シマスルト同時ニ、物價ノ騰貴貨幣法ノ改正等ニ依リマシテ、久シク增額ノ必要ニ追シテ居リマスル文武官吏ノ俸給並下士卒ノ給與ニ對シテ約三割ノ増給ヲ行ヒ、以テ適材ヲ適所ニ任シ、政務ノ振興ヲ計ルノ案ヲ立テマシタ、其他各般ノ經費ニ付キマシテハ、歲計全體ヲ通シテ努力メテ緊縮ヲ圖リ、新規要求ハ成ルベク之ヲ見合セ、既定經畫ニ屬スルモノニアリマシテ、出來得ル限り之ニ節減ヲ加フルノ方針ニ依リマシタケレドモ、戰後ノ經營ハ徒ニルコトガ約九百万圓デアリマスルガ故ニ、國力ノ發展並ニ經濟社會ノ進運ニ伴ヒ、若クハ國民経済力ノ發達ニ必要缺クベカラザル各種ノ施設ニ關シマシテハ、確實ナル財源ノ許ス範圍内ニ於キマシテ、其遂行ヲ期スルコトニ致シマシタ、明治四十三年度國債整理基金繰入額ハ一億九千三百九十三万餘圓デアリマシテ、之ヲ前年度ニ比較致シマスルニ一千八十万圓ノ増額トナリマス、而シテ右ノ繰入金ノ中元金ノ償還ニ充ツベキ金額ハ

六千八十万圓ニアリマシテ、前年度ニ比較致シマシテ一千萬圓ヲ增加スルモノニアリマシテ、右ノ如ク國債償還額ノ増加致シマシタルノハ既定ノ經畫ニ基キマシテ、前年度ニ於テ償還額ヲ致シマスル元金ノ利子ニ相當スル金額即チ約二百五十萬圓ヲ增加スルノ外、明治四十一年度ニ於キマシテ生ジマシタル歲計剩餘中必要已ムヲ得ザル經費ニ充當スベキモノヲ除キマシタル殘額七百五十萬圓ヲ、臨時ニ國債整理基金ニ繰入ヲ致シマシタル結果ニアリマス、歲計剩餘金ヲ國債ノ償還ニ使用致シマスルコトハ、國庫ノ負擔ヲ輕減スルニ最モ適實ナル方法ニアリマスルノミナラズ、最近ニ償還期限ノ到來ヲ致シマスル國庫債券償還ニ對シマシテ、大ナル便益ヲ與フルモノニアリマス、翻シテ我經濟界ノ越勢ヲ按シマスルニ、金融緩慢ヲ告ゲ、内外市場ノ不振ハ未だ急ニ多大ナル商工業ノ需用ヲ喚起スルニ至リマセヌケレドモ、明治四十二年中銀行會社ノ新設増資ニ係リマスルモノガ、約一億二千万圓ニ上リマシテ、大體ニ於テ我經濟界ハ順次秩序的ノ發達ヲ示シテ、アルモノト謂ハネバナリマセヌ、又同年中ニ於キマスル我外國貿易ノ狀況ヲ見マスルニ、輸出が四億一千三百餘萬圓、輸入ガ二億九千四百餘萬圓、合計八億七百余萬圓ニアリマシテ、之ヲ前年度ノ貿易額ニ比較致シマスルトキハ、總額ニ於キマシテハ七百餘万圓ノ減少ヲ致シテ居リマス、蓋シ内外商工業不振ノ結果ニ外ナリマセヌガ、其内容ニ付キマシテ之ヲ見マスルトキハ、前年ニ比シマシテ輸出ヲ三千四百餘萬圓ヲ増加シ、輸入ヲ四千二百餘萬圓ヲ減ジタルモノニアリマシテ、前年ニ於キマスル輸入超過五千八百餘萬圓ニ對シ、約千九百万圓ノ輸出超過ヲ示シマスルノハ、去ル二十五年以來曾テ見ザルトコロノ現象デゴザイマス、我内地ノ産業が漸次其潛勢力を發揮スルノ時期ニ到達シテ、アルモノト認ムルノ外アリマセヌ、之ヲ要スルニ戰後ノ財政ハ一度ハ必ず整理ヲ要スルモノニアリマスルガ、整理ノ目的ハ財政ノ鞏固ヲ期スルニアリマスルが故ニ、之ヲ爲シマスルニハ先づ緩急其序ヲ誤ラザルコトが肝要デアリマセウ、明治四十二年度ノ豫算ニ於キマシテハ、前年度ノ豫算經畫ニ次ギマシテ、其最モ急ナリト認メマスルトコロヲ實行セントスルモノニアリマシテ、本大臣ハ更ニ進ンテ十分ノ調査ヲ遂ゲ、内外ノ形勢ニ鑑ミ、事情ノ緩急ニ應シテ漸次必要ナル施設ヲ怠ラザントスル考デゴザイマス、諸君、本大臣ハ、諸君が慎重審議以テ速ニ豫算案ニ協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望シテ已マヌノデゴザイマス
○武藤金吉君 質問ガアリマス
○議長(長谷場純孝君) チヨット御待チ下サイ 大藏大臣
○大藏大臣(侯爵桂太郎君) 諸君、稅法整理ニ關係ヲ致シマスル各種法律案ノ議ニ上リマシタルヲ機會ト致シマシテ、稅法整理ノ趣旨並ニ整理案ノ大要ヲ述ヘテ、諸君ノ御参考ニ供シタイト考ヘマス、我國民ノ負擔ハ、大戰役ニ際シ急激ニ増稅ヲ致シマシタル結果ト致シマシテ、租稅ノ賦課均衡ヲ得マセヌデ負擔稍ニ重キニ過ギタルモノガナイデハゴザイマセヌ、又諸般經濟上ノ變遷ニ從ヒマシテ、稅制ニ改正ヲ要スルモノガ少ナクハアリマセヌ、此ヲ以チマシテ稅制ノ整理ハ、政府及國民ノ齊シク其必要ヲ認メマスルトコロデアリマスルガ、又一方ニ於キマシテ國家が當然ノ任務ト致シマシテ、施設經營ヲ要シマスル事項ハ、國運ノ發展ニ伴ヒマシテ益々多キヲ加フル場合ニゴザイマスルガ故ニ、急激ニ歲入ヲ減少致シマスルコトハ頗ル困難アリマスルガ故ニ、歲計上確實ナル基礎ヲ動カシマセヌ範圍内ニ於キマシテ、負擔ノ均衡ヲ期シマスルト同時ニ、國民ノ全般ニ瓦リマシテ最モ苦痛トスルトコロヲ緩和致シマスル目的ヲ以チマシテ、稅法ヲ整理スルコトヲ期シマシテ、茲ニ本案ヲ提出スルコト、ナリマシタ、即チ地租ニアリマシテハ負擔ニ最モ偏輕偏重アル宅地ニ付キマシテ、其地價ヲ修正シ、所得稅ニアリマシテハ所得ノ種類及金額ニ應ジテ負擔ノ適正ヲ圖リ、營業稅ニアリマシテハ營業ノ種類ニ依リ、最モ重キヲ置クベキ

課稅ノ標率ヲ考ヘマシテ、其稅率ヲ適當ニ按排シ、相續稅ニアリマシテハ家督相續ノ稅率ヲ低減ヲ致シマシテ、通行稅ニアリマシテハ、市内通行稅ヲ免除シ、砂糖消費稅ニアリマシテハ砂糖ノ種別ヲ増加致シマシテ稅率ノ權衡ヲ維持シ、織物消費稅ニアリマシテハ毛織物ノ稅率ヲ毛織物以外ノ織物ト同一ナラシメ、鹽專賣ニアリマシテハ鹽田ノ整理ヲ致シマシテ、之ニ依リマシテ得タル利益ノ増加ヲ以チマシテ鹽價ノ低減ヲ圖リマスル等ガ、改正ノ重ナル點ニアリマス、是等ノ整理ヨリ生ジマスル歲入減少額ハ、明治四十三年度ニ於キマシテ約九百十二萬圓、四十一年度ニ於キマシテ約千二十一萬圓ト相成リマス、諸君、何卒御審議ノ上協賛ヲ與ヘラレマスルヤウ希望致シマス、尙茲ニ現行關稅定率法ニ於キマシテ諸君ニ御紹介致シテ置キマセウト考ヘマス、諸君、現行關稅定率法ハ制定後數次ノ改正ヲ經マシテ、就中明治三十九年ニ於キマシテ産業貿易ノ趨勢ニ照シマシテ、全般ニ涉テ改正ヲ加ヘラレマシタケレドモ、其當時協定稅率トノ關係上ヨリ尙未ダ盡サムルトコロガゴザイマス、之ニ加ヘマスルニ、戰役後ニ於キマシテノ經濟狀態ノ變動ニ伴ヒマシテ、現行關稅定率ノ漸ク產業貿易ノ實況ニ適應セザルモノガ少ナリ有様トナリマシタルガ故ニ、茲ニ來ル四十四年各國トノ通商航海條約ノ改正セラレマスルヲ機會ト致シマシテ、關稅定率法ヲ改正セントスルニ至リマシタ、改正案ヲ立案スルニ付キマシテハ政府ハ内國ニ於キマスル生產消費ノ狀況ニ照シマシテ、國家全體ノ利害ヲ考察ラシ、農工商各業間ノ利害ノ調和ヲ圖リ、稅率ノ偏重偏輕ニ失セヌコトヲ期シマシタ、又物品ノ原料品アルト、未製品アルト、全製品アルトニ依リマシテ、或ハ又物品日日常用品アルカナイカト云フ點ヲ觀察シ、或ハ又其本邦ニ於キマシテ製造ヲトニ努メマシタ、本案ハ四十四年條約改正ト密接ノ關係ヲ有シマシテ、且又經濟財政上重要ノ法律案ニアリマスルガ故ニ、慎重ナル御審議ヲ以テ、御協賛ヲ與ヘラレコトヲ希望致シマス。

○武藤金吉君 議長
○根本正君 議長
○議長(長谷場純孝君) 今ノ演説ニ對シテ説明ヲ求メラル、ノデゴザイマスカ
○武藤金吉君 左様デゴザイマス
○議長(長谷場純孝君) 武藤金吉君

(拍手スル者アリ)

○武藤金吉君 私ハ大藏大臣トシテノ桂侯爵ノ財政計畫ニ付キマシテ、詳細ナル説明ヲ得タトイ思フノアリマス、現内閣ノ成功トシテ昨年内閣ヲ組織シテ以來、財政策ニ付テ最モ心力ヲ用井ラレマシタコロノ此公債政略ハ、本日ノ施政ノ方針ニ依リマシテ、財政ハ内外ノ信用ヲ確立シト御明言ヲサレテ居リマスガ、果シテ此内外ノ信用ヲ確立サレテアリマスカ否ヤト云フコトハ、私甚ダ信ズルコトハ出來ナインアリマス、又此説明ヲ詳細ニ聽カント欲スル所以ニアリマス、諸君、今日ノ財政ハ表面此公債ノ價格が額面以上ニ騰リマシタカラ、是が成功シタガ如クニ見ニルノアリマスガ、果シテ昨年内閣組織ノ當時ニアツテ一般經濟ノ調和ヲ計ルト云フノ目的ニ適ウテ居リマスカ、諸君、今日ノ公債ノ價格ノ騰貴ハ一部ノ銀行家ノ成功ニアリマス、(ノウ)ト呼フ者アリ)ノ他經濟狀態ハ果シテ如何ニアリマスカ、償還額ノ增加ハ甚ダ喜ブトコロアリマス。

スガ此公債ノ償還ラスルガタメニ、此モノハカリニ總テノモノヲ集注シテ他ヲ顧ミナイト云フコトハ、數字が明ニ證明サレテアルノアリマス、諸君今日ノ内國債ハ合計ガ幾ラニナツテ居リマスカ外國債が昨年ノ十一月ノ調ニ依リマスレバ十億五千三百八十九万一千五百十二圓アル、内國債ガ十四億千九百六十八萬圓餘アル(「簡單ニヤレ」ト呼フ者アリ)ソレデ此中ニ事業費ガドレダケ含ンテ居ル、事業公債ト云フモノハ外國債ニ於キマシテモ、内國債ニ於キマシテモ、甚ダ少ナインアリマス、而シテ此ノ利率ヲ御覽ナサエ、此利率ヲ悉ク此外國債モ内國ノ預金ノ利子モ、郵便貯金モ今日ハ同等ニナツテ居ルデハアリマセスカ、サウンテ此公債ヲ維持スルガタスニハ政府ハドウ云フコトヲヤッテ居ルカト云ヘバ、本院ニ於キマシテモ協賛ヲ與ヘタルガ如ク、此公債ニ關係シマスルトコロノ所得稅ヲ免除シ、總テノ方法ヲ與ヘサウシテ又外國ニ對シマシテハ財務官ヲ派遣シテアル、此財務官ハ大藏省次官ノ資格デ、此給料旅費ヲヤツテ居リマスケレドモ、開クト豫算ニモ計上シテナケレバ、何レノ所カラ此八百圓ノ費用が出ルノアリマセウカ、是ハ最モ聽キタイ所アル、殊ニ倫敦ニ於ケルトコロノ「ゴルトン」トノ關係ハ將來如何ナルモノアル、現在ハ如何ナルモノアルカ、此關係ヲ明ニシテ將來ヲ計畫シナケレバ、此外國ノ公債ト云フモノハ唯仲買人ノ手ニアリテ、決シテ内外ノ信用ヲ鞏固ニシタシテハナイト云フコトヲ私ハ信ズルノアリマス、諸君、此昨年ノ下半季ニ於キマシテ我銀行業者ハ——銀行が開闢以來儲ケタ事實ハ諸君御承知デゴザイマセウ、日本銀行ニ於キマシテモ一千五百万圓以上ノ利益ヲシテ居ル、十五銀行ニ於キマシテハ千六百万圓以上ノ大利益ヲ致シテ居リマス、其他第一銀行、安田銀行、三井銀行、三菱銀行、第三銀行、鴻ノ池銀行ノ如キモノヲ合セマンシタナラバ、二億万圓以上此公債ノ騰貴ノタメニ儲ケタノアル、而シテ一面我邦ノ此經濟狀態——一般國民ノ狀態ヲ見マスレバ如何ニアリマスカ、戰時ノ時分ニハ皆吾々又國民が零碎ノ金ヲ集メマシテ公債ニ應ジマシテ、九十五圓若クハ額面ヲ以テ應ジマシタ金ハ七十圓臺テ以テ皆賣放ツノ悲運ニ際シ、而シテ現内閣が立ツテ此公債整理ヲシタ結果、額面以上ニナルト云フコトアルカラノ中ハ此商工偏愛政策ヲトシテ居リマス、私ハ此ノ富豪暴利政策ニアリト斷言シテ差支ナイト思ヒマス、諸君、我邦ノ財政上、即チ財政經濟狀態ハ一部指ヲ折ル程ノ豪商ト、此内閣諸公ト手ヲ握テ饗會トカ、鮑會トカ、鮑會トカ云フ所デ決スルヤウニ私ハ聞イテ居ル、其他ニ實業社會ヲ代表スルトコロナリ、實業家ガ、一モ其會ニ列シテ總テノ實業上ノ方針ヲ交換サレタトコロガアリマスカ(「宜シク桂内閣ヲ仆ヘシ」、「多言ハ無用デアル」「ヒヤ」「ト呼フ者アリ」)諸君、斯ヤウナ譯ニアリマシテ、殊ニ吾々が奇怪ニ堪シテ、此金融ノ緩慢、此大利益ト云フモノハ一部ノ豪商が得タノアリマス、而シテ世界ノ中ハ此商工偏愛政策ヲトシテ居リマス、私ハ此ノ富豪暴利政策ニアリト断言シテ差支ナイト思ヒマス、諸君、我邦ノ財政上、即チ財政經濟狀態ハ一部指ヲ折ル程ノ豪商ト、此内閣諸公ト手ヲ握テ饗會トカ、鮑會トカ、鮑會トカ云フ所デ決スルヤウニ私ハ聞イテ居ル、其他ニ實業社會ヲ代表スルトコロナリ、實業家ガ、一モ其會ニ列シテ總テノ實業上ノ方針ヲ交換サレタトコロガアリマスカ(「宜シク桂内閣ヲ仆ヘシ」、「多言ハ無用デアル」「ヒヤ」「ト呼フ者アリ」)諸君、斯ヤウナ譯ニアリマシテ、殊ニ吾々が奇怪ニ堪ヘナインハ今日ニ於キマシテ此米價ノ暴落デアリマス、此米價暴落ノ如キハ此豐作ノ爲メニ米價が暴落シタト申スデアリマセウ、ケレドモ豐作ノタメモアリマセウガ、是ハ當局者が全國ノ米價等ノ標準トナルトコロノ東京株式取引所ニ横暴ガアツタノモ、ソレヲ取締ラナイ結果ガ、少ナクモ此米價ノ大下落ラシタト云フコトニ影響シテ居ル、此等ハ諄ミシク言ハナクトモ、其當時ノ米價ハ當時ノ解合直段等ニ依テモ明デアリマス、斯様ニ此現内閣ニ於キマシテノ政策ト云フモノハ、一方ニ偏スルガタメニ、總テノモノヲ犠牲ニ供シ、殊ニ諸君、公債打切ト云ヒナガラ其實地方ニ於キマシテハ如何ナルコトヲ致シタカ、郵便貯金獎勵ノ結果ハ如何ニアリマセウ、恐らくハ現内閣ハ郵便貯金——普通ノ郵便貯金ハ一億一千万以上アリテ、本年ハ一千七百五十万圓ノ獎勵ノ結果ニ出テマシテ、大手柄アルト云フコトヲ申サレ

ルテアリマセウ、併大ガラ諸君ヨ、吾々ハ苛税ニ苦ムノ外ニ此一千七百五十万圓ノ強制的預金ヲ課セラレタノアリマス、一種ノ課税デアリマス、此等ノ政策ハ實ニ羊頭ヲ揭ゲテ狗肉ヲ賣ルトコロノ胡麻化シ政策デ、私ハ内外ノ信用ヲ鞏固ニシテ此經濟狀態ヲ本順ニヤツテ行ク政策ナイト確信スル譯デアリマス其他諸君ヨ、此公債バカリデナク、現在會社銀行ノ創立資本金が凡ソ七十億ト數ヘラレテ居ル、而シテ實際ノ拂込額ハ三十五億トモ謂ヒ七億トモ謂フ、明確ノ統計ハ得テ居リマセヌケレドモ、確ニ三十五七億アルトコロノ會社銀行ノ有價證券ト云フモノハ、無視シテ顧ミナイデアリマセカ、此等ノ政策が——公債政策ト云フモノハ確立シタモノニアリマセウカ、其他此鐵道ノ「質問ラシクセヨ」ト呼フ者アリ、鐵道ノ特別會計等ニ付キマシテモ、此等ノ零碎ノ資金ヲ集メテ、此資ニ充テ、御遣ニナルト云フコトハ、實ニ私ハ前後矛盾ナカト思フ、此政策ニ付キマシテ大ナル過チデハナイカト思フノアリマス、此等ノ點ニ付テ大藏大臣ヨリ願クハ詳細ナルトコロノ御説明ヲ得タ伊マシテ、是ダケノ質問ヲ致シマス

○小河源一君——議長、武藤君ノ演説ノ無用々々ト呼フ者アリ

○根本正君 議長……

○小河源一君 議長……

○議長(長谷場純孝君) 小河君ハ武藤君ノ質問ニ對シテ、復タ質問ヲ試ミルノデス

○小河源一君 質問ノ趣旨ガ分リマセヌカラ、ソレヲ承リタイ

○議長(長谷場純孝君) 根本君ハ……

○根本正君 御演説中ノ不明ノ點ヲ尋ネルノデス

○小河源一君 唯今ノ演説ノ不明ノ點ヲ尋ネルノアリマス

○議長(長谷場純孝君) 總理大臣ニ向シテ説明ヲ請ハル、ノデスカ

○小河源一君 武藤君ノ演説ノ分ラヌヲ尋ネルノデス

(「無用々々」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 小河君ハ……根本君

○根本正君 総理大臣ノ説明ヲ請ヒマスルガ、唯今御演説中ニ……

〔小河源一君斯ウ云フ事ニハ質問ヲ許サナイノデスカ〕ト呼フ

(「根本君ヤリ給ヘ」ト呼フ者アリ)

○根本正君 本員ガ……(拍手起ル)

○小河源一君(武藤君ノ演説ノ分ラヌコトヲ質シテ置キタイノダ)ト呼フ

○議長(長谷場純孝君) 先づ根本君ニ許シマシタ

〔質問ヲ受ケタ者ガ分タカドウカ、ソレカラ言ヘバ宜イダヤナイカ〕ト呼フ者アリ

(「根本正君登壇」)

○根本正君 本員ハ登壇スル積リハゴザイマセヌデアリマシタケレドモ、登壇スルヤウニ同志ノ御方ノ勧メアリマシタカラ、極ク簡単ニ一言述ベマス、唯今總理大臣トシテ桂侯爵ノ御演説中ニ、稅制ニ偏重偏輕ナカラシムルト云フ御言葉ガアリマシタ、尙又大藏大臣トシテノ御言葉ニ、厚薄ナカラシムルト云フ御言葉ガアリマシタ、即チ人民ニアチラニ厚クコラニ薄イト云フコトハ御演説ガアリマシタ、誠ニ本員ノ満足尼ストコロニアリマス、是ハ即チ恐多クモ「上下心ヲ一ニシ旺ニ經綸ヲ行フヘシ」ト云フトコロノ有難キ聖旨ニ依ツテ總理大臣ハ施政セラル、ト云フコトハ私ハ悅ンデ居リマス、然ルニ是ガ實際ニ行ハレテ居ルカ居ラヌカト云フ所ニ付テ、私ハ其説明ヲ望ムコトデアリマスル、今日

(「内閣總理大臣兼大藏大臣侯爵桂太郎君登壇」)

○内閣總理大臣兼大藏大臣(侯爵桂太郎君) 唯今過刻本官ガ此席ニ於キマシテ、諸君ニ向ヒマシテ施政ノ方針、財政ノ計畫ニ付キマシテ陳述ヲ致シマシタニ付キマシテ、第一ニ武藤君ノ御質問ガゴザイマシタ、第二ニ根本君ノ御質問ガゴザイマシタ、順次ニ御答ヲ申サウト考ヘル、武藤君ノ御質問ハ、本官ノ承ルトコロテハ武藤君ノ御議論ト考ヘルデゴザイマス、「ヒヤー」下呼フ者アリ又其御演説中ニ公債政策ヲ行フノハ富豪ト結託ヲスルト云フヤウナ御言葉ガゴザイマシタガ、是ハ斷ジテ無イト云フコトヲ此處ニ明言スルヲ憚リマセヌノデゴザイマス、是ダケヲ以テ武藤君ニ御答ヲ致シテ置キマス、又根本君ノ御質問、即チ偏重偏輕若クハ厚薄ト云ウタガ、即チ此中ニハ地租ガ無イノハドウデアルカト云フ御質問デアル、是ハ誠ニ明瞭ナル御質問ト承リマシタ、「ヒヤー」下呼フ者アリ

固ヨリ政府ニ於キマシテモ由述ベタ如ク、偏重偏輕ヲ直シ、厚薄ノナイヤウニ致シタイト云フノハ演説中ニ申述ベマシタ如ク其通り精神デゴザイマス、然ルトコロ御承知ノ如ク

財政ノ上ニ、全部來年度ニ於キマシテ實行スルダケノ餘裕ヲ持タナカツタノデゴザイマス、

天下ノ大問題ナル所ハ我五千万中ノ最モ大多數ヲ占メテ居ルトコロノ農民ノ地租ニアリマス、其地租ヲシテ今日外ノ稅ヲ減ズルニモ拘ラズ、之ヲ減ゼザルト云フコトハ如何ニ偏重偏輕ニアリマセヌカ、大藏大臣トシテ此事ヲ顧ミザルハ如何ニ厚薄ト云フコトヲ忘レトコロノ會社銀行ノ有價證券ト云フモノハ、無視シテ顧ミナイデアリマセカ、此等ノ政策が——公債政策ト云フモノハ確立シタモノニアリマセウカ、其他此鐵道ノ「質問ラシクセヨ」ト呼フ者アリ、鐵道ノ特別會計等ニ付キマシテ大ナル過チデハナイカト思フノアリマス、此等ノ點ニ付テ大藏大臣ヨリ願クハ詳細ナルトコロノ御説明ヲ得タ伊マシテ、是ダケノ質問ヲ致シマス

○小河源一君——議長、武藤君ノ演説ノ不明ヲ質シタウゴザイマス

○小河源一君 議長……

○小河源一君 質問ノ趣旨ガ分リマセヌカラ、ソレヲ承リタイ

○議長(長谷場純孝君) 根本君ハ……

○根本正君 御演説中ノ不明ノ點ヲ尋ネルノデス

○小河源一君 唯今ノ演説ノ不明ノ點ヲ尋ネルノアリマス

○議長(長谷場純孝君) 總理大臣ニ向シテ説明ヲ請ハル、ノデスカ

○小河源一君 武藤君ノ演説ノ分ラヌヲ尋ネルノデス

(「無用々々」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 小河君ハ……根本君

○根本正君 総理大臣ノ説明ヲ請ヒマスルガ、唯今御演説中ニ……

〔小河源一君斯ウ云フ事ニハ質問ヲ許サナイノデスカ〕ト呼フ

(「根本正君登壇」)

天下ノ大問題ナル所ハ我五千万中ノ最モ大多數ヲ占メテ居ルトコロノ農民ノ地租ニアリマス、其地租ヲシテ今日外ノ稅ヲ減ズルニモ拘ラズ、之ヲ減ゼザルト云フコトハ如何ニ偏重偏輕ニアリマセヌカ、大藏大臣トシテ此事ヲ顧ミザルハ如何ニ厚薄ト云フコトヲ忘レトコロノ會社銀行ノ有價證券ト云フモノハ、無視シテ顧ミナイデアリマセカ、此等ノ政策が——公債政策ト云フモノハ確立シタモノニアリマセウカ、其他此鐵道ノ「質問ラシクセヨ」ト呼フ者アリ、鐵道ノ特別會計等ニ付キマシテ大ナル過チデハナイカト思フノアリマス、此等ノ點ニ付テ大藏大臣ヨリ願クハ詳細ナルトコロノ御説明ヲ得タ伊マシテ、是ダケノ質問ヲ致シマス

○小河源一君——議長、武藤君ノ演説ノ無用々々ト呼フ者アリ

○根本正君 議長……

○小河源一君 議長……

○議長(長谷場純孝君) 小河君ハ武藤君ノ質問ニ對シテ、復タ質問ヲ試ミルノデス

○小河源一君 質問ノ趣旨ガ分リマセヌカラ、ソレヲ承リタイ

○議長(長谷場純孝君) 根本君ハ……

○根本正君 御演説中ノ不明ノ點ヲ尋ネルノデス

○小河源一君 唯今ノ演説ノ不明ノ點ヲ尋ネルノアリマス

○議長(長谷場純孝君) 總理大臣ニ向シテ説明ヲ請ハル、ノデスカ

○小河源一君 武藤君ノ演説ノ分ラヌヲ尋ネルノデス

(「無用々々」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 小河君ハ……根本君

○根本正君 総理大臣ノ説明ヲ請ヒマスルガ、唯今御演説中ニ……

〔小河源一君斯ウ云フ事ニハ質問ヲ許サナイノデスカ〕ト呼フ

(「根本正君登壇」)

天下ノ大問題ナル所ハ我五千万中ノ最モ大多數ヲ占メテ居ルトコロノ農民ノ地租ニアリマス、其地租ヲシテ今日外ノ稅ヲ減ズルニモ拘ラズ、之ヲ減ゼザルト云フコトハ如何ニ偏重偏輕ニアリマセヌカ、大藏大臣トシテ此事ヲ顧ミザルハ如何ニ厚薄ト云フコトヲ忘レトコロノ會社銀行ノ有價證券ト云フモノハ、無視シテ顧ミナイデアリマセカ、此等ノ政策が——公債政策ト云フモノハ確立シタモノニアリマセウカ、其他此鐵道ノ「質問ラシクセヨ」ト呼フ者アリ、鐵道ノ特別會計等ニ付キマシテ大ナル過チデハナイカト思フノアリマス、此等ノ點ニ付テ大藏大臣ヨリ願クハ詳細ナルトコロノ御説明ヲ得タ伊マシテ、是ダケノ質問ヲ致シマス

○小河源一君——議長、武藤君ノ演説ノ無用々々ト呼フ者アリ

○根本正君 議長……

○小河源一君 議長……

○議長(長谷場純孝君) 小河君ハ武藤君ノ質問ニ對シテ、復タ質問ヲ試ミルノデス

○小河源一君 質問ノ趣旨ガ分リマセヌカラ、ソレヲ承リタイ

○議長(長谷場純孝君) 根本君ハ……

○根本正君 御演説中ノ不明ノ點ヲ尋ネルノデス

○小河源一君 唯今ノ演説ノ不明ノ點ヲ尋ネルノアリマス

○議長(長谷場純孝君) 總理大臣ニ向シテ説明ヲ請ハル、ノデスカ

○小河源一君 武藤君ノ演説ノ分ラヌヲ尋ネルノデス

(「無用々々」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 小河君ハ……根本君

○根本正君 総理大臣ノ説明ヲ請ヒマスルガ、唯今御演説中ニ……

〔小河源一君斯ウ云フ事ニハ質問ヲ許サナイノデスカ〕ト呼フ

(「根本正君登壇」)

天下ノ大問題ナル所ハ我五千万中ノ最モ大多數ヲ占メテ居ルトコロノ農民ノ地租ニアリマス、其地租ヲシテ今日外ノ稅ヲ減ズルニモ拘ラズ、之ヲ減ゼザルト云フコトハ如何ニ偏重偏輕ニアリマセヌカ、大藏大臣トシテ此事ヲ顧ミザルハ如何ニ厚薄ト云フコトヲ忘レトコロノ會社銀行ノ有價證券ト云フモノハ、無視シテ顧ミナイデアリマセカ、此等ノ政策が——公債政策ト云フモノハ確立シタモノニアリマセウカ、其他此鐵道ノ「質問ラシクセヨ」ト呼フ者アリ、鐵道ノ特別會計等ニ付キマシテ大ナル過チデハナイカト思フノアリマス、此等ノ點ニ付テ大藏大臣ヨリ願クハ詳細ナルトコロノ御説明ヲ得タ伊マシテ、是ダケノ質問ヲ致シマス

○小河源一君——議長、武藤君ノ演説ノ無用々々ト呼フ者アリ

○根本正君 議長……

○小河源一君 議長……

○議長(長谷場純孝君) 小河君ハ武藤君ノ質問ニ對シテ、復タ質問ヲ試ミルノデス

○小河源一君 質問ノ趣旨ガ分リマセヌカラ、ソレヲ承リタイ

○議長(長谷場純孝君) 根本君ハ……

○根本正君 御演説中ノ不明ノ點ヲ尋ネルノデス

○小河源一君 唯今ノ演説ノ不明ノ點ヲ尋ネルノアリマス

○議長(長谷場純孝君) 總理大臣ニ向シテ説明ヲ請ハル、ノデスカ

○小河源一君 武藤君ノ演説ノ分ラヌヲ尋ネルノデス

(「無用々々」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 小河君ハ……根本君

○根本正君 総理大臣ノ説明ヲ請ヒマスルガ、唯今御演説中ニ……

〔小河源一君斯ウ云フ事ニハ質問ヲ許サナイノデスカ〕ト呼フ

(「根本正君登壇」)

天下ノ大問題ナル所ハ我五千万中ノ最モ大多數ヲ占メテ居ルトコロノ農民ノ地租ニアリマス、其地租ヲシテ今日外ノ稅ヲ減ズルニモ拘ラズ、之ヲ減ゼザルト云フコトハ如何ニ偏重偏輕ニアリマセヌカ、大藏大臣トシテ此事ヲ顧ミザルハ如何ニ厚薄ト云フコトヲ忘レトコロノ會社銀行ノ有價證券ト云フモノハ、無視シテ顧ミナイデアリマセカ、此等ノ政策が——公債政策ト云フモノハ確立シタモノニアリマセウカ、其他此鐵道ノ「質問ラシクセヨ」ト呼フ者アリ、鐵道ノ特別會計等ニ付キマシテ大ナル過チデハナイカト思フノアリマス、此等ノ點ニ付テ大藏大臣ヨリ願クハ詳細ナルトコロノ御説明ヲ得タ伊マシテ、是ダケノ質問ヲ致シマス

○小河源一君——議長、武藤君ノ演説ノ無用々々ト呼フ者アリ

○根本正君 議長……

○小河源一君 議長……

○議長(長谷場純孝君) 小河君ハ武藤君ノ質問ニ對シテ、復タ質問ヲ試ミルノデス

○小河源一君 質問ノ趣旨ガ分リマセヌカラ、ソレヲ承リタイ

○議長(長谷場純孝君) 根本君ハ……

○根本正君 御演説中ノ不明ノ點ヲ尋ネルノデス

○小河源一君 唯今ノ演説ノ不明ノ點ヲ尋ネルノアリマス

○議長(長谷場純孝君) 總理大臣ニ向シテ説明ヲ請ハル、ノデスカ

○小河源一君 武藤君ノ演説ノ分ラヌヲ尋ネルノデス

(「無用々々」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 小河君ハ……根本君

○根本正君 総理大臣ノ説明ヲ請ヒマスルガ、唯今御演説中ニ……

〔小河源一君斯ウ云フ事ニハ質問ヲ許サナイノデスカ〕ト呼フ

(「根本正君登壇」)

天下ノ大問題ナル所ハ我五千万中ノ最モ大多數ヲ占メテ居ルトコロノ農民ノ地租ニアリマス、其地租ヲシテ今日外ノ稅ヲ減ズルニモ拘ラズ、之ヲ減ゼザルト云フコトハ如何ニ偏重偏輕ニアリマセヌカ、大藏大臣トシテ此事ヲ顧ミザルハ如何ニ厚薄ト云フコトヲ忘レトコロノ會社銀行ノ有價證券ト云フモノハ、無視シテ顧ミナイデアリマセカ、此等ノ政策が——公債政策ト云フモノハ確立シタモノニアリマセウカ、其他此鐵道ノ「質問ラシクセヨ」ト呼フ者アリ、鐵道ノ特別會計等ニ付キマシテ大ナル過チデハナイカト思フノアリマス、此等ノ點ニ付テ大藏大臣ヨリ願クハ詳細ナルトコロノ御説明ヲ得タ伊マシテ、是ダケノ質問ヲ致シマス

○小河源一君——議長、武藤君ノ演説ノ無用々々ト呼フ者アリ

○根本正君 議長……

○小河源一君 議長……

○議長(長谷場純孝君) 小河君ハ武藤君ノ質問ニ對シテ、復タ質問ヲ試ミルノデス

○小河源一君 質問ノ趣旨ガ分リマセヌカラ、ソレヲ承リタイ

○議長(長谷場純孝君) 根本君ハ……

○根本正君 御演説中ノ不明ノ點ヲ尋ネルノデス

○小河源一君 唯今ノ演説ノ不明ノ點ヲ尋ネルノアリマス

○議長(長谷場純孝君) 總理大臣ニ向シテ説明ヲ請ハル、ノデスカ

○小河源一君 武藤君ノ演説ノ分ラヌヲ尋ネルノデス

(「無用々々」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 小河君ハ……根本君

○根本正君 総理大臣ノ説明ヲ請ヒマスルガ、唯今御演説中ニ……

〔小河源一君斯ウ云フ事ニハ質問ヲ許サナイノデスカ〕ト呼フ

(「根本正君登壇」)

天下ノ大問題ナル所ハ我五千万中ノ最モ大多數ヲ占メテ居ルトコロノ農民ノ地租ニアリマス、其地租ヲシテ今日外ノ稅ヲ減ズルニモ拘ラズ、之ヲ減ゼザルト云フコトハ如何ニ偏重偏輕ニアリマセヌカ、大藏大臣トシテ此事ヲ顧ミザルハ如何ニ厚薄ト云フコトヲ忘レトコロノ會社銀行ノ有價證券ト云フモノハ、無視シテ顧ミナイデアリマセカ、此等ノ政策が——公債政策ト云フモノハ確立シタモノニアリマセウカ、其他此鐵道ノ「質問ラシクセヨ」ト呼フ者アリ、鐵道ノ特別會計等ニ付キマシテ大ナル過チデハナイカト思フノアリマス、此等ノ點ニ付テ大藏大臣ヨリ願クハ詳細ナルトコロノ御説明ヲ得タ伊マシテ、是ダケノ質問ヲ致シマス

○小河源一君——議長、武藤君ノ演説ノ無用々々ト呼フ者アリ

○根本正君 議長……

○小河源一君 議長……

○議長(長谷場純孝君) 小河君ハ武藤君ノ質問ニ對シテ、復タ質問ヲ試ミルノデス

○小河源一君 質問ノ趣旨ガ分リマセヌカラ、ソレヲ承リタイ

○議長(長谷場純孝君) 根本君ハ……

○根本正君 御演説中ノ不明ノ點ヲ尋ネルノデス

○小河源一君 唯今ノ演説ノ不明ノ點ヲ尋ネルノアリマス

○議長(長谷場純孝君) 總理大臣ニ向シテ説明ヲ請ハル、ノデスカ

○小河源一君 武藤君ノ演説ノ分ラヌヲ尋ネルノデス

(「無用々々」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 小河君ハ……根本君

○根本正君 総理大臣ノ説明ヲ請ヒマスルガ、唯今御演説中ニ……

〔小河源一君斯ウ云フ事ニハ質問ヲ許サナイノデスカ〕ト呼フ

(「根本正君登壇」)

天下ノ大問題ナル所ハ我五千万中ノ最モ大多數ヲ占メテ居ルトコロノ農民ノ地租ニアリマス、其地租ヲシテ今日外ノ稅ヲ減ズルニモ拘ラズ、之ヲ減ゼザルト云フコトハ如何ニ偏重偏輕ニアリマセヌカ、大藏大臣トシテ此事ヲ顧ミザルハ如何ニ厚薄ト云フコトヲ忘レトコロノ會社銀行ノ有價證券ト云フモノハ、無視シテ顧ミナイデアリマセカ、此等ノ政策が——公債政策ト云フモノハ確立シタモノニアリマセウカ、其他此鐵道ノ「質問ラシクセヨ」ト呼フ者アリ、鐵道ノ特別會計等ニ付キマシテ大ナル過チデハナイカト思フノアリマス、此等ノ點ニ付テ大藏大臣ヨリ願クハ詳細ナルトコロノ御説明ヲ得タ伊マシテ、是ダケノ質問ヲ致シマス

○小河源一君——議長、武藤君ノ演説ノ無用々々ト呼フ者アリ

○根本正君 議長……

○小河源一君 議長……

○議長(長谷場純孝君) 小河君ハ武藤君ノ質問ニ對シテ、復タ質問ヲ試ミルノデス

○小河源一君 質問ノ趣旨ガ分リマセヌカラ、ソレヲ承リタイ

○議長(長谷場純孝君) 根本君ハ……

○根本正君 御演説中ノ不明ノ點ヲ尋ネルノデス

○小河源一君 唯今ノ演説ノ不明ノ點ヲ尋ネルノアリマス

○議長(長谷場純孝君) 總理大臣ニ向シテ説明ヲ請ハル、ノデスカ

○小河源一君 武藤君ノ演説ノ分ラヌヲ尋ネルノデス

故ニ本年ハ斯ノ如キ計畫ヲ提出致シマシタ次第、即チ政府ハ之ヲ信ジマシテ、斯ノ如キ案ヲ作リマシテ提出致シタ次第デゴザイマス、デ決シテ民ニ對スル厚薄ハナリ、偏重偏輕ヲ直スト云フコトハ本官ノ誠心誠意ノ方針デアルト云フコト御承知下サレタイ

○高木正年君 議長、高木正年

○議長(長谷場純孝君) 高木正年君

○高木正年君 御許シニナリマシタが、私ハ先刻發言ヲ求メマシタが、不幸ニシテ時ヲ得

マセヌデアリマシタが、大體ハ根本君ノ言ハレベキコトヲ私ハ簡單ニ申サウト思テ居タノ

デアリマス、即チ根本君ノ質問ニ對スル答辯トシテ大藏大臣ノ御演説ガアリマシタが其御

言葉ニ依ルト、不幸ニシテ餘裕ヲ見ナイト云フコトノ御一言ガアツタノデゴザイマス、是ニ

於テ私ハ一言大藏大臣ニ反問ヲシナケレバ、ナラヌノアリマス、大藏大臣ガ先刻言ハレ

タ如ク、四十一年度ノ剩餘金ニ依テ公債ノ償還ニ一千萬圓ヲ増加セラレタト云フノ

ハ何ニアリマスカ、更ニ官吏増俸ニ依テ新ニ支出セラル、トコロハ九百万圓ニ過ギマセ

ヌガ、行政整理ト官吏増俸トハ固ヨリ別問題デアル、行政ヲ整理スベキ必要ガアツテ、整

理セラレテ得タコロノ六百万圓、約六百万圓、ソレニ新ニ支出セラル、トコロノ九

百万圓ヲ加フレバ即チ千五百万圓デ、公債償還ニ依テ多ク出スベキトコロノ一千万

圓、官吏増俸ニ依テ一千五百万圓、此ニツノ金額ハ確ニ國庫ガ四十三年年度ニ於テ餘

裕ヲ示スモノト言ハナケレバナラヌノアリマス、然ルニ官吏増俸ノ如キモノヲ先ニシテ、地

租及其他ノ惡稅ヲ廢セザルハ抑、何ノ故デゴザイマスカ、即チ負擔ノ公平ヲ期スルト云フ

コトハ何レニ於テ適當ナル意味ヲ大藏大臣ノ御演説ハ現ハシタノデアルカト云フコトニ付

テ、大ナル遺憾ヲ感ゼザルヲ得ナイノアリマス、此點ニ於テ一言御答ヲ願ヒタイト私ハ思

ノノアリマス(拍手起立)

(内閣總理大臣兼大藏大臣侯爵桂太郎君登壇)

○内閣總理大臣兼大藏大臣(侯爵桂太郎君) 高木正年君ノ唯今ノ御質問ニ對シ

テ御答ヲ致シマス、高木君ノ御質問ハ、財源ガアルノニ、何故茲ニ地租ノ輕減ヲ提出シ

ナカッタカ

○高木正年君 地租ノ輕減バカリデハアリマセス

○内閣總理大臣兼大藏大臣(侯爵桂太郎君) 何デシタカモウ一遍

○高木正年君 其他ノ惡稅、鹽ノ如キ、織物稅ノ如キ

○内閣總理大臣兼大藏大臣(侯爵桂太郎君) ア、サウデスカ、其他ノ惡稅(笑聲

起ル)ナゼ其他ノ惡稅若クハ地租ニ、官吏増俸ヲ削ヅテヤラナカッタカト云フコトハ、ソレハ

見込ノ違ヒデゴザイマスカラシテ、御答ハ致シマセス、其中公債ノ方ヘ繰入レマシタ七百

五十万圓云クト云フコトガゴザイマシタが、是ハ高木君ハ御承知デアラウト考ヘマスガ、是

ハ一時ノ臨時ノ剩餘金デゴザイマシテ、此物ヲ以チマシテ水久稅若クハ其他ノ永久ニ係

ハルトコロノ財源ニ充テルト云フコトハ、政府ハ避ケナケレバナラヌト考ヘマシテ避ケタノデ

ゴザイマス

○高木正年君 簡單ニ尙今一言申述ベタイト思ヒマス、御許シニナリマスカ

○議長(長谷場純孝君) 前ノ續キデアリマスカ

○高木正年君 左様デス

○議長(長谷場純孝君) 高木君

○高木正年君 唯今ノ續キ、總理大臣ノ御言葉ニ依リマスルト、官吏増俸ヲシテ地

租及其他ノ惡稅ニ及ボサナインハ見込デアルト云フ、左様デアルナラバ政府ガ地租輕減

及惡稅廢止ノ如キモノヨリモ、官吏増俸が急ナリト云フ御意思デアルト云フコトニ、私ハ

承テ宣イノデアルカト云フコトヲ聞キタイ、ソレカラ今一ツハ剩餘金ヲ公債ノ償還ニ充テルノハ臨時ノモノデアルカラ、公債ノ償還ニ充テルト云フ御說デアル、成程是ハ四十二年一度ノミニ於テセラルベキ剩餘金ニアタラバ、一時ノモノデアルト云フコトガ言ハルカ知ラヌガ、現ニ大藏大臣ハ何某ノ新聞記者者ニ此項御旅行先キテ御話ニナツタコトガ新聞ニ

出テ居リマスガ、四十四年度ニ於テモ確ニ四十一年度ノ剩餘金ノ一千万圓以上アル

ト云フコトヲ御明言ニナツテ居ル、殆ド剩餘金ハ臨時ノモノニアラズシテ、豫算ノ結了ト

決算ノ結了ト共ニ常ニ剩餘金ナリト此豫算ヲ解スルモノハ認メテ居ル、獨リ政府ハ知ラザル筈ハナイ

ハ皆等シク印象スルコトデアリマス、決シテ臨時ノコトトハ言ハレヌノアリマス、等シク之

ヲ以テ國庫剩餘金ナリト此豫算ヲ解スルモノハ認メテ居ル、獨リ政府ハ知ラザル筈ハナイ

ト私ハ思フノアリマス、此點ニ於テ疑ガアリマスカラ、明瞭ニ御答ヲ願ヒタク思フノアリマス

○吉植庄一郎君 議長

○議長(長谷場純孝君) 吉植君ハ説明ヲ求メラレルノデスカ

○吉植庄一郎君 サウデス、大藏大臣ニ聞クノデス、唯今大藏大臣ノ御説明ニ了解

ニ苦ム點ガ二三アリマスカラ、確メテ置キタイト思ヒマス、政府ハ民力ノ負擔ニ對シ偏

輕偏重ナカラシメンガタメニ稅制ノ整理ヲシタ、之ヲ是非共本年ヨリ行ヒタイト云フコト

ノ誠意ニ對シテハ敬意ヲ拂フノデアリマスガ、地稅ノ輕減ニ對シテハ何等提案ノナイト

云フコトニ付テ、唯今大臣ノ答辯ハ甚ダ明瞭ヲ缺イテ居ル、本員ガ此御提出ニナツタ諸

云フ警見致シマスルト云フト、獨リ地租ノ輕減案が出来ナイト云フダケテナイ、農業者ト

云フモノニ對スル 政府ノ眞意ガ甚ダ疑ハレルノデアル、此提案ニナツタコロノモノニ依リ

マシテモ、水害地ノ免租ノ既得権ニナツテ居ツタコロノ農民ノ權利ダ、是ニ對スル今回ノ

改正案ハ、農民ニ非常ノ不利ナル改正案が提出サレテ居ル、又地目變換ニ對シテ此課

稅ノコト、從來ハ開墾ノ獎勵若クハ耕地整理ノ進捗ニ對シテ成ルベク此年限ヲ延長

シ、負擔ヲ輕カラシムルト云フ方針ヲ立ツテ居ツタノデアル、ソレガ今回ノ改正案ニ付テハ現

在ヨリモ重キ狀態ニ之ヲ復サントスルノデアル、而シテ一方相續稅ノ如キ、若クハ所得

稅ノ如キ、若クハ通行稅ノ如キ、其他ノ改正案ノ法案トシテ御提案ニナツタコロノモノ

ヲ見マスルト、總テ現在ノ狀態ヨリ減ゼントシテ居ルノデアル、然ルニ獨リ農民ノ側ニ對

シテハ——農民ノ負擔ヲ輕減スルト云フ方面ニ對シテハ、却テ之ヲ增加セントスル 提案

デアルノデアル、若シ地租ノ輕減ト云フダケノ案が出来ナイトニ對シテ、政府ハ財源ニ乏シイ

ガ故ニ近キ將來ニ於テ爲サンツスルト云フダケナラバ、吾ミ又了解が出來ルノデアルガ、

是ニ附加ハテ反對ノ證據ヲ御出シニナツテ、尙且是モ政府ハ負擔ヲ維持スル、

全國ノ人民ニ對シテ公平ナル負擔ヲ爲サシメントスルノ意思デアルト云フコトハ、ドウシテ

吾ミガ了解が出來マセウカ、之ニ對シテハ吾ミハ故ラニ言葉尻ヲ捉ヘテ云爲スルノアハナ

イ、誠心誠意協賛ノ任務ヲ竭サントスルニ當ツテハ、當局者ハ眞ノ誠意ヲ以テ、其所信

(政府委員若槻禮次郎君登壇)

○政府委員(若槻禮次郎君) 唯今ノ御尋ニ御答ヲ致シマス、此災害ニ依リマシテ收

穫ノ取レナカッタ土地ニ付アハ免稅スルト云フコトニナツテ居ルノハ、吉植君ノ御尋ノ

依テ取レナカッタ土地ニ付アハ免稅スルト云フコトニナツテ居ルノハ、吉植君ノ御尋ノ

通リデアリマス、他ノ法律ニ依テ即チ水害以外ノ災害ニ依テ收穫ノ取レナイ場合ニ於テ

ハ、延納ヲ許スコトニナツテ居リマス、而シテ此延納ノ場合ニ於テハ、再ビ其災害ニ罹ラテ

關シ豫メ政府ノ許可ヲ受ケ又ハ届出ヲ爲シタルモノニ付テハ此限ニ在

ラス
地租ヲ課セサル土地ヲ地租ヲ課スル土地ト爲シタルトキハ其地ノ現況ニ

依リ直ニ其土地ノ地價ヲ定ム但第十六條第四項ノ場合ハ此限ニ在ラス

第十二條 地租ハ左ノ期限ニ依リ之ヲ徵收ス

一 宅地

第一期 其年七月一日ヨリ

地租額二分ノ一

同七月三十一日限

第一期

地租額二分ノ一

第二期

地租額二分ノ一

第二期

第一期

地租額四分ノ一

第一期

地租額四分ノ一

第一期

地租額四分ノ一

第一期

地租額四分ノ一

第一期

地租額四分ノ一

第一期

地租額二分ノ一

出アリタルトキハ翌年分地租ヨリ開墾又ハ變換シタル地目ニ依リ其地租ヲ
徵收スニ改メ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ場合ニ於テ開墾又ハ變換地目ノ税率カ舊地目ノ税率ト同一ナラサ
ルトキハ舊地目ニ對スル地租額ヲ開墾又ハ變換地目ノ税率ヲ以テ除シ之
ヲ開墾又ハ變換地目ニ對スル地價トシ修正地價ニ依リ地租ヲ徵收スルニ

至ル迄其地價ニ依リ地租ヲ徵收ス

第二十二條中「其地ノ現況ニ依リ地價ヲ定ム」ヲ「地價ヲ修正ス」ニ改ム
者ニ對シ必要ノ事項ヲ尋問スルコトヲ得

第二十五條及第二十六條中「罰金」ヲ「罰金又ハ科料」ニ改ム

本法ハ明治四十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ明治四十三年分地租ノ徵
收ニ關シテハ仍舊法ヲ適用ス

非常特別稅法中地租ニ關スル規定ハ明治四十三年分地租限之ヲ廢止ス
ルモノハ本法施行ノ際其ノ地價ヲ修正シ明治四十四年分地租ヨリ修正地價
ニ依リ地租ヲ徵收ス

本法施行前地目ヲ變換シ地價ヲ修正シタル土地ニシテ修正地價ニ依リ地租
ヲ徵收スルニ至ラサルモノニ付テハ明治四十四年分地租ヨリ修正地價ニ依
リ地租ヲ徵收ス

明治二十四年法律第二號、明治三十年法律第五號及宅地組換法ハ之ヲ廢止

ス

附則

本法ハ明治四十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ明治四十三年分地租ノ徵
收ニ關シテハ仍舊法ヲ適用ス

本法施行前地目ヲ變換シ又ハ地類ヲ變換シタル土地ニシテ地價ヲ修正セサ
ルモノハ本法施行ノ際其ノ地價ヲ修正シ明治四十四年分地租ヨリ修正地價
ニ依リ地租ヲ徵收ス

本法施行前地目ヲ變換シ地價ヲ修正シタル土地ニシテ修正地價ニ依リ地租
ヲ徵收スルニ至ラサルモノニ付テハ明治四十四年分地租ヨリ修正地價ニ依
リ地租ヲ徵收ス

本法二十四年法律第二號、明治三十年法律第五號及宅地組換法ハ之ヲ廢止

ス

宅地地價修正法案

宅地地價修正法

第一條 本法ニ於テ宅地ト稱スルハ郡宅地及市街宅地ヲ謂フ

第二條 本法施行ノ際ニ於ケル宅地ノ地價ハ本法ニ依リ之ヲ修正ス

第三條 宅地ノ修正地價ハ本法ニ依リ定メタル賃貸價格ノ十倍トス但シ賃
貸價格ノ十倍カ現在地價ノ二十倍ヲ超ユルトキハ現在地價ノ二十倍ヲ以
テ其ノ地價トス

本法ニ於テ賃貸價格ト稱スルハ貸主カ公課、修繕費其ノ他土地ノ維持ニ
必要ナル經費ヲ負擔スル條件ヲ以テ之ヲ賃貸スル場合ニ於テ貸主ノ收得

スヘキ金額ヲ謂フ

第四條 宅地ノ賃貸價格ハ宅地賃貸價格調査委員會ノ調査ニ依リ政府之ヲ
決定ス

政府ハ調査委員會ノ決議ヲ不當ト認ムルトキハ之ヲ再調査ニ付ス

左ノ場合ニ於テハ政府ニ於テ宅地ノ賃貸價格ヲ決定ス

一 調査委員會成立セサルトキ

二 調査委員會ノ調査ニ付シタル日ヨリ六十日以内ニ調査結了セサルト
キ

三 調査委員會ノ再議ニ付スルモ其ノ決定仍不當ト認ムルトキ

四 調査委員會ノ再議ニ付シタル日ヨリ二十日以内ニ調査結了セサルト
キ

第十七條中「第十條ノ一ノ規定ヲ準用ス」ヲ「其年ヨリ開墾又ハ變換シタル
但地類變換ヲ爲シタル後五年以内ニ開墾シタルモノニ在リテハ其成功ノ

部分ニ對シ直ニ其地價ヲ修正ス

第十七條中「第十條ノ一ノ規定ヲ準用ス」ヲ「其年ヨリ開墾又ハ變換シタル
但地租ヲ徵收ス但其年ニ係ル地租ノ全部又ハ一部ノ納期開始後屆

第五條 稅務署長ハ所轄内各市町村ニ於ケル宅地ノ賃貸價格ヲ調査シ宅地賃貸價格調査委員會ニ提出スヘシ

第六條 各稅務署所轄内ニ宅地賃貸價格調査委員會ヲ置ク但シ稅務署所轄内ニ市制ヲ施行スル地方ヲ包含スルトキハ市制ヲ施行スル地方ト其ノ他

ノ地方トニ區別シテ之ヲ置ク

調査委員ノ定數八十人トス但シ地方ノ狀況ニ依リ命令ヲ以テ之ヲ増減スルコトヲ得

第七條 調査委員ハ調査委員選舉人之ヲ選舉ス調査委員ニ選ハレタル者ハ正當ノ事故ナクシテ之ヲ辭スルコトヲ得ス

第八條 調査委員選舉人ノ定數ハ其ノ選舉區域内ニ於テ宅地ノ地租ヲ納ムル義務アル者五十人ニ付一人トス但シ義務者千人以上ナルトキハ二十人ニ止メ義務者五十人未滿ナルトキハ一人トス

第九條 調査委員ノ選舉區域ハ調査委員會ヲ置クヘキ區域ニ依リ調査委員選舉人ノ選舉區域ハ市町村ノ區域ニ依ル

第十條 選舉執行ノ日ニ於テ現ニ地租名寄帳ニ宅地地租納稅者トシテ登錄セラレタル者ハ當該選舉區域内ニ於テ調査委員選舉人ヲ選舉シ又ハ調査委員若ハ調査委員選舉人ニ選舉セラルコトヲ得但シ左ニ記載スル者ハ此ノ限ニ在ラス

一 無能力者
二 身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者及家資分散若ハ破産ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタルトキヨリ復權ノ決定確定スルニ至ル迄ノ者

三 國稅滯納處分ヲ受ケタル後一年ヲ經サル者

四 六年以上ノ懲役若ハ禁錮ニ處セラレタル者又ハ舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレ復權ヲ得サル者

五 六年以上ノ懲役若ハ禁錮ニ處セラレタル者又ハ舊刑法ノ禁錮ニ處セラレタル者ニシテ其ノ刑ノ執行ヲ終ル迄ノ者又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

第十一條 調査委員選舉人及調査委員ノ選舉並調査委員會ノ會議ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條 政府ハ其ノ決定シタル賃貸價格ニ依リ修正地價ヲ定メ之ヲ市町村長ニ通知スヘシ

市町村長前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ市役所又ハ町村役場ニ於テ二十日間其ノ市町村内ニ於テ宅地ノ地租ヲ納ムル義務アル者又ハ其ノ納稅管理人ノ縱覽ニ供スヘン

第十三條 宅地ノ地租ヲ納ムル義務アル者又ハ其ノ納稅管理人修正地價ニ不服アルトキハ縱覽期間満了ノ日ヨリ三十日以内ニ政府ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第十四條 前條ノ申立アリタルトキハ政府ハ修正地價ヲ決定シ之ヲ異議申立者ニ通知スヘレバ本法ニ依ル地價ノ修正又ハ行政訴訟ヲ爲スコトヲ得ス

第十六條 本法中市トアルハ東京市、京都市、大阪市、北海道及沖縄縣ニ在リテハ區トス

附則

第十七條 本法ニ依リ地價ヲ修正シタル宅地ニ付テハ明治四十四年分地租ヨリ修正地價ニ依リ地租ヲ徵收ス

第十八條 本法施行後明治四十三年十二月三十一日迄ノ間ニ於テ地租條例ニ依リ地價ヲ設定シ又ハ修正シタル宅地ニ付テハ更ニ本法ニ依リ地價ヲ修正シタル類地ノ比準ニ依リ地價ヲ修正シ明治四十四年分地租ヨリ其ノ修正地價ニ依リ地租ヲ徵收ス

第十九條 荒地免租年期又ハ低價年期ヲ有スル宅地ニ付テハ本法ニ依リ地價ノ修正ヲ爲サス年期明ニ至リ類地ノ比準ニ依リ其ノ地價ヲ修正ス

荒地免租年期ヲ有スル宅地ニシテ低價年期ヲ許可セラレタルトキハ其ノ年期明ニ至リ前項ノ規定ヲ適用ス

第二十條 本法施行前耕地整理法又ハ明治三十年法律第三十九號ニ依リ耕地ノ整理又ハ土地ノ改良ニ著手シ事業成功ニ至ラサル地區内ニ在ル宅地ニ付テハ本法ニ依リ地價ノ修正ヲ爲サス事業成功ニ至リ本法ニ依リ地價ヲ修正シタル類地ノ比準ニ依リ其ノ地價ヲ修正ス

第二十一條 開墾著手後九年ヲ経過セサル宅地又ハ鉢下年期若ハ地價据置年期ヲ有スル宅地ニ付テハ本法ニ依リ地價ノ修正ヲ爲サス開墾著手後十年目又ハ年期明ニ至リタルトキ類地ノ比準ニ依リ其ノ地價ヲ修正ス

第二十二條 前三條ノ場合ニ於テ地租ヲ徵收スヘキ宅地ニ付テハ其ノ修正地價ニ依リ地租ヲ徵收スルニ至ル迄左ノ各號ニ依リ地價ヲ徵收ス

一 北海道ノ宅地ニ在リテハ現地價ニ對スル百分ノ四箇ノ地租額ヲ百分ノ二箇半ヲ以テ除シタルモノヲ以テ地價トシ之ニ對スル地租ヲ徵收ス
二 府縣ノ宅地ニ在リテハ現地價ニ對スル百分ノ五箇半ノ地租額ヲ百分ノ二箇半ヲ以テ除シタルモノヲ以テ地價トシ之ニ對スル地租ヲ徵收ス
前項ノ規定ハ明治四十四年分地租ヨリ之ヲ適用ス

耕地整理法中改正法律案

耕地整理法中左ノ通改正ス

第十二條中第十條ノ一乃至第十一條ヲ「第十條、第十一條及ニ改ム」

第十三條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ
前項ノ場合ニ於テ地租ノ稅率同一ナラサル土地アルトキハ現地價ニ依リ算出シタル地租ノ合計額ヲ每筆相當ニ配賦シ當該地目ノ稅率ヲ以テ除シタル金額ヲ其ノ配賦地價トス

第十四條第二項中「變換シタル土地ニ付テハ工事完了ノ年ヨリ六年目」及開墾シタル土地ニシテ工事著手ノ年ヨリヲ削リ左ノ一項ヲ加フ
地類變換ヲ爲シタル後五年以内ニ開墾ヲ爲シタル土地ニ付テハ第二項中開墾地ニ關スル規定ヲ適用セス
第十五條第一項中「地目若ハ地類ノ變換後五年ヲ削リ第一號中「開墾若ハ地類ノ變換ヲ爲シタル土地地目ヲ變換シ地價ノ修正ナキ土地ヲ「開墾ヲ爲シタル土地」ニ改メ第三號中「地目若ハ地類ノ變換後六年目」ヲ削ル

九萬圓ヲ超ユル金額
十萬圓ヲ超ユル金額

千分ノ百九十九
千分ノ二百

第二種 前各種ニ屬セサル所得 所得金額ヲ左ノ各級ニ區分シ其ノ各區
分ニ對シ遞次ニ各稅率ヲ適用ス

千分ノ二十

五百圓以下ノ金額

五百圓ヲ超ユル金額
七百圓ヲ超ユル金額

千分ノ十七
千分ノ二十
千分ノ二十五

千分ノ三十
千分ノ三十五

千分ノ四十
千分ノ四十五
千分ノ五十五

三千圓ヲ超ユル金額
四千圓ヲ超ユル金額

千分ノ六十五
千分ノ七十
千分ノ八十五
千分ノ九十

五千圓ヲ超ユル金額
七千圓ヲ超ユル金額

千分ノ百十五
千分ノ百三十五
千分ノ百四十五
千分ノ百六十五

一萬圓ヲ超ユル金額
一萬五千圓ヲ超ユル金額
二萬圓ヲ超ユル金額
三萬圓ヲ超ユル金額

千分ノ百九十五
千分ノ百九十九
千分ノ百九十九
千分ノ百九十九

四萬圓ヲ超ユル金額
五萬圓ヲ超ユル金額
六萬圓ヲ超ユル金額
七萬圓ヲ超ユル金額

千分ノ百七十五
千分ノ二百五十五
千分ノ二百五十五
千分ノ二百六十五

八萬圓ヲ超ユル金額
九萬圓ヲ超ユル金額
十萬圓ヲ超ユル金額

千分ノ二百三十五
千分ノ二百三十五
千分ノ二百三十五

前項ノ株主又ハ株主及社員ノ數ハ其ノ事業年度間ノ最少數ニ依ル

戸主及其ノ同居家族ノ所得ニ付テハ第三種ニ限り之ヲ合算シ其ノ總額ニ依リ

本條ノ稅率ヲ適用シ戸主及其ノ同居家族ノ所得ニ合算シテ各其ノ稅額ヲ定ム

戸主ト別居スル家族二人以上同居スルトキ亦同シ

第一種ノ所得ハ各事業年度總益金ヨリ同年度總損金、前年度繰越金、

保險責任準備金及保險支拂備金ヲ控除シタル金額ニ依ル但シ第二條

ニ該當スル法人ノ所得ハ此ノ法律施行地ニ於ケル資本又ハ營業ヨリ

生スル各事業年度益金ヨリ同年度損金ヲ控除シタル金額ニ依ル

第三種ノ所得ハ其ノ支拂ヲ受クヘキ金額ニ依ル

甲 勤勞ヨリ生スル所得
イ 債給、給料、手當金、歲費、年金、恩給金、退隱料ハ收入豫算額ニ百
分ノ八十ヲ乘シタル金額

第四條 所得ハ左ノ區別ニ依リ之ヲ算定ス

第一種ノ所得ハ各事業年度總益金ヨリ同年度總損金、前年度繰越金、

保險責任準備金及保險支拂備金ヲ控除シタル金額ニ依ル但シ第二條

ニ該當スル法人ノ所得ハ此ノ法律施行地ニ於ケル資本又ハ營業ヨリ

生スル各事業年度益金ヨリ同年度損金ヲ控除シタル金額ニ依ル

第二種ノ所得ハ其ノ支拂ヲ受クヘキ金額ニ依ル

乙 其ノ他ノ所得
口 其ノ他ハ總收入金額ヨリ必要ノ經費ヲ控除シタル豫算年額ニ百
分ノ八十ヲ乘シタル金額

口 此ノ法律施行地ニ於テ支拂ヲ受ケサル公債社債ノ利子、此ノ法
律ニ依リ所得稅ヲ課セラレサル法人ヨリ受クル配當金、營業ニ
非サル貸金、預金ノ利子ハ其ノ收入豫算年額

口 田畠ノ所得ハ前三箇年間毎年ノ總收入金額ヨリ必要ノ經費ヲ控
除シタルモノノ平均金額但シ前二箇年間繼續シテ田畠ナラサリシ
土地ニ付テハ總收入金額ヨリ必要ノ經費ヲ控除シタル豫算年額

口 山林ノ所得ハ前年ノ總收入金額ヨリ必要ノ經費ヲ控除シタル金
額

口 其ノ他ハ總收入金額ヨリ必要ノ經費ヲ控除シタル豫算年額
ニ其ノ他ハ總收入金額ヨリ必要ノ經費ヲ控除シタル豫算年額

前項第一號ノ場合ニ於テ益金中此ノ法律ニ依リ所得稅ヲ課セラレタル法
人ヨリ受ケタル配當金及此ノ法律施行地ニ於テ支拂ヲ受ケタル公債社債
ノ利子アルトキハ之ヲ控除ス

第一種ノ所得ヲ算定スル場合ニ於テ固定資本ノ減價ニ對シ償却積立金ヲ
爲スモノニ在リテハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ損金ト看做ス

第三種ノ所得ヲ算定スル場合ニ於テ船舶運送業者ノ船舶、倉庫業者ノ倉
庫又ハ製造業者ノ機械ノ減價ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ經費ト看做ス

第四條ノ二 前年ニ於テ山林ノ所得ヲ有シタル者ハ其ノ山林ノ所有權其ノ
他ノ權利ヲ喪失シタルトキト雖其ノ所得ニ付所得稅ヲ納ムル義務アルモ
ノトス

第五條中「恩給」ヲ「恩給、退隱料」ニ改メ左ノ一號ヲ加フ

八 乘馬ヲ有スル義務アル軍人カ政府ヨリ受クル馬糧、飼畜料及馬匹保
續料

第六條 第三種ノ所得ハ三百圓ニ満タナルトキハ所得稅ヲ課セス但シ左ニ
掲クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一 第三條第三項ノ場合ニ於テ所得ノ合算額三百圓ニ満ツルトキ
二 第四條第一項第三號甲ノ場合ニ於テ所得ヲ算定スヘキ標準金額又ハ
標準金額ト他ノ所得トノ合算額三百圓ニ満ツルトキ

第46條及第47條中「罰金」ヲ「罰金又ハ科料」ニ改ム

附 則
本法ハ明治四十三年分所得稅ヨリ之ヲ適用ス

非常特別稅法中所得稅ニ關スル規定ハ明治四十二年分所得稅限之ヲ廢止ス

營業稅法中改正法律案外四件 第一讀會

第一條中「船渠業」、「土木請負業」ヲ削リ「勞力請負業」ヲ「請負業」ニ、
「公ナル周旋業」ヲ「一周旋業」、「一代辦業」ヲ「代理業」ニ、「仲買業」ヲ「一

問屋業ニ改メ「印刷業」ノ次ニ「出版業」ヲ、「問屋業」ノ次ニ「信託業」ヲ加フ

第三條中「資本金額」ヲ「運轉資本金額」ニ改ム
第四條中「器物、器械」ヲ「物品」ニ、「染物、洗濯」ヲ「洗濯」ニ改ム
第七條中「印刷業」ノ下ニ「出版業」ヲ加ヘ、「土木請負業、勞力請負業」ヲ「請負業」

ニ改メ左ノ一項ヲ加フ
出版業ニシテ新聞紙法ニ依ルモノニハ營業稅ヲ課セス

年報償金額百圓以上ノ者トス
第十二條 營業稅ハ左ノ課稅標準及稅率ニ依リ毎年之ヲ賦課ス

第十五條中「土木請負業、労力請負業」ヲ「請負業」ニ、「公ナル周旋業代辦業、仲立業、仲買業」ヲ「周旋業、代理業、仲立業、問屋業、信託業」ニ改ム。

第十八條 建物賃貸價格ハ貸主カ公課、修繕費、保險料其ノ他土地又ハ建物ノ維持ニ必要ナル經費ヲ負擔スル條件ヲ以テ店舗其ノ他營業用ノ土地建物ノ賃貸ベレ易ヒニ於テ貸主ノ故意ベキモ金額ヲ謂フ但シ同一区域内ニ在

シテ計算ス
ル住居用其ノ他ノ土地建物ニシテ間接ニ營業ニ使用スルモノハ營業用ト

第十九條中但書ヲ削ル
第二十一條中「船渠業」ヲ削リ「印刷業」ノ下ニ「出版業」ヲ加フ

本法ハ明治四十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
附則

非常特別稅法中營業稅ニ關スル規定ハ之ヲ處
相續稅法中改正法律案

第三條中「慈善」ヲ「慈善其ノ他ノ公益ニ改
第八條相變稅ハ課稅價格ヲ左ノ各級ニ區
通額ニ從ニ處々ヲ免稅ヲ適用シテ之ヲ

家督相續

家督相續	稅	相續人カ被相續人ノ	相續人カ被相續人ノ	相續人カ民法第九百八十五條ニ依リ選定シタル者、民法第九百八十八年十二月二日以後相續人ノタル直系卑屬ナルトキ夫ナルトキ又ハ入キ	率
五千圓以下ノ金額	千分ノ十	家族タル直系卑屬ナルトキ	相續人カ被相續人ノ	指定期定シタル者、民法第九百八十八年十二月二日以後相續人ノタル直系卑屬ナルトキ夫ナルトキ又ハ入キ	
	千分ノ十二				
	千分ノ十五				

五千圓ヲ超ユル金額	千分ノ十二	千分ノ十四	千分ノ二十
一萬圓ヲ超ユル金額	千分ノ十四	千分ノ十七	千分ノ二十五
二萬圓ヲ超ユル金額	千分ノ十七	千分ノ二十	千分ノ三十
三萬圓ヲ超ユル金額	千分ノ二十	千分ノ二十五	千分ノ三十五
四萬圓ヲ超ユル金額	千分ノ二十五	千分ノ三十	千分ノ四十
五萬圓ヲ超ユル金額	千分ノ三十	千分ノ三十五	千分ノ四十五
七萬圓ヲ超ユル金額	千分ノ三十五	千分ノ四十	千分ノ五十
十萬圓ヲ超ユル金額	千分ノ五ヲ加フ	千分ノ五ヲ加フ	千分ノ五ヲ加フ
一(百萬圓ニ)五萬圓毎	千分ノ五ヲ加フ	千分ノ五ヲ加フ	千分ノ五ヲ加フ
二(リテ止ム)			

通行稅法案

一條汽車電車及汽船ノ
二百哩又八二百海里以上

金五十錢
金二十五錢

金匱

金四十錢

金三錢

金二十

金一
金

卷之三

金二
錢

通行稅
八

新編
タ
レ
日

卷一百一十五

一
等
級
二
號

ヲ適用ス

卷之三

卷之三

癸卯年正月廿二日

ス 收 雜 著 里 江

來者ノ帳簿書

一〇四

通行稅法案		第一條	通行稅法
二百哩又ハ二百海里以上	二等	一百哩又ハ二百海里未滿	金二十五錢
三百哩又ハ三百海里以上	三等	一百哩又ハ二百海里未滿	金四錢
五百哩又ハ五百海里以上	一等	百哩又ハ百海里未滿	金四十錢
七百哩又ハ七百海里以上	二等	百哩又ハ百海里未滿	金二十錢
九百哩又ハ九百海里以上	三等	百哩又ハ百海里未滿	金三十錢
一千哩又ハ一千海里以上	一等	五十哩又ハ五十海里未滿	金二十錢
一千五百哩又ハ一千五百海里以上	二等	五十哩又ハ五十海里未滿	金二十五錢
二千哩又ハ二千海里以上	三等	五十哩又ハ五十海里未滿	金二錢
二千五百哩又ハ二千五百海里以上	一等	往復乘船車ノ契約ヲ爲シタル場合ニ於テハ通行稅ハ往復ノ里程ヲ通算シ テ之ヲ徵收ス	金五錢
三千哩又ハ三千海里以上	二等	往復乘船車ノ契約ヲ爲シタル場合ニ於テハ通行稅ハ往復ノ里程ヲ通算シ テ之ヲ徵收ス	金三錢
三千五百哩又ハ三千五百海里以上	三等	往復乘船車ノ契約ヲ爲シタル場合ニ於テハ通行稅ハ往復ノ里程ヲ通算シ テ之ヲ徵收ス	金一錢
四千哩又ハ四千海里以上	一等	第二條 通行稅ヲ課スヘキ場合ニ於テ汽車、電車又ハ汽船ニシテ等級ヲ分 タサルモノニ在リテハ三等ノ稅率ヲ適用シ二等級ニ分チタルモノニ在リ ハ二等三等ノ稅率ヲ適用シ一等級ノ上又ハ三等級ノ下ニ更ニ等級ヲ設 ケタルモノニ在リテハ一等又ハ三等ノ稅率ヲ適用ス	金十錢
四千五百哩又ハ四千五百海里以上	二等	第三條 左ノ場合ニ於テハ通行稅ヲ課セス	金三錢
五千哩又ハ五千海里以上	三等	一 市内又ハ命令ヲ以テ市内ニ準スヘキモノト定メタル區域内ノミヲ通 行スルトキ	金二十錢
五千五百哩又ハ五千五百海里以上	一等	二 外國行ノ汽船ニ乗シ外國ニ赴クトキ	金二十五錢
六千哩又ハ六千海里以上	二等	三 鐵道軍事供用令ニ依リ乗車スルトキ	金四錢
六千五百哩又ハ六千五百海里以上	三等	第四條 通行稅ハ汽車、電車又ハ汽船營業者乗船車賃金ヲ領收スルトキ之 ヲ徵收スヘシ	金三十錢
七千哩又ハ七千海里以上	一等	第五條 汽車、電車又ハ汽船營業者前條ニ依リ徵收スヘキ通行稅ヲ納付セ サルトキハ國稅徵收法ニ依リ該營業者ヨリ之ヲ徵收ス	金四十錢
七千五百哩又ハ七千五百海里以上	二等	第六條 収稅官吏ハ汽車、電車又ハ汽船營業者ノ帳簿書類ヲ検査スルコト ヲ得	金五十錢

外國ノ法律ニ依リ開始シタル相續ニ關シテハ遺產相續ニ關スル稅率ヲ準用ス但シ相續人二人以上アル場合ニ於テ其ノ適用スヘキ稅率相異ルトキハ其ノ最低キ稅率ヲ適用ス

第十條中「三年」ヲ「五年」ニ、「五年」ヲ「七年」ニ改ム

第十七條中「三年」ヲ「五年」ニ改ム

附 則

第二十四條及第二十五條中「罰金」ヲ「罰金又ヘ科料」ニ改ム

本法ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ本法施行前開始シタル相續ニ關シテハ仍舊法ヲ適用ス

通行稅法案		第一條	通行稅法
二百哩又ハ二百海里以上	二等	一百哩又ハ二百海里未滿	金二十五錢
三百哩又ハ三百海里以上	三等	一百哩又ハ二百海里未滿	金四錢
五百哩又ハ五百海里以上	一等	百哩又ハ百海里未滿	金四十錢
七百哩又ハ七百海里以上	二等	百哩又ハ百海里未滿	金二十錢
九百哩又ハ九百海里以上	三等	百哩又ハ百海里未滿	金三十錢
一千哩又ハ一千海里以上	一等	五十哩又ハ五十海里未滿	金二十錢
一千五百哩又ハ一千五百海里以上	二等	五十哩又ハ五十海里未滿	金三十錢
二千哩又ハ二千海里以上	三等	五十哩又ハ五十海里未滿	金二十錢
二千五百哩又ハ二千五百海里以上	一等	往復乘船車ノ契約ヲ爲シタル場合ニ於テハ通行稅ハ往復ノ里程ヲ通算シ テ之ヲ徵收ス	金五錢
三千哩又ハ三千海里以上	二等	往復乘船車ノ契約ヲ爲シタル場合ニ於テハ通行稅ハ往復ノ里程ヲ通算シ テ之ヲ徵收ス	金三錢
三千五百哩又ハ三千五百海里以上	三等	往復乘船車ノ契約ヲ爲シタル場合ニ於テハ通行稅ハ往復ノ里程ヲ通算シ テ之ヲ徵收ス	金二錢
四千哩又ハ四千海里以上	一等	第二條 通行稅ヲ課スヘキ場合ニ於テ汽車、電車又ハ汽船ニシテ等級ヲ分 タサルモノニ在リテハ三等ノ稅率ヲ適用シ一等級ニ分チタルモノニ在リ テハ二等三等ノ稅率ヲ適用シ一等級ノ上又ハ三等級ノ下ニ更ニ等級ヲ設 ケタルモノニ在リテハ一等又ハ三等ノ稅率ヲ適用ス	金一錢
四千五百哩又ハ四千五百海里以上	二等	第三條 左ノ場合ニ於テハ通行稅ヲ課セス	金一錢
五千哩又ハ五千海里以上	三等	一 市内又ハ命令ヲ以テ市内ニ準スヘキモノト定メタル區域内ノミヲ通 行スルトキ	金一錢
五千五百哩又ハ五千五百海里以上	一等	二 外國行ノ汽船ニ乗シ外國ニ赴クトキ	金一錢
六千哩又ハ六千海里以上	二等	三 鐵道軍事供用令ニ依リ乗車スルトキ	金一錢
六千五百哩又ハ六千五百海里以上	三等	第四條 通行稅ハ汽車、電車又ハ汽船營業者乗船車賃金ヲ領收スルトキ之 ヲ徵收スヘシ	金一錢
七千哩又ハ七千海里以上	一等	第五條 汽車、電車又ハ汽船營業者前條ニ依リ徵收スヘキ通行稅ヲ納付セ サルトキハ國稅徵收法ニ依リ該營業者ヨリ之ヲ徵收ス	金一錢
七千五百哩又ハ七千五百海里以上	二等	第六條 収稅官吏ハ汽車、電車又ハ汽船營業者ノ帳簿書類ヲ検査スルコト ヲ得	金一錢

本法ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
非常特別稅法中通行稅ニ關スル規定ハ之ヲ廢止ス

酒精造石稅徵收猶豫及免除ニ關スル法律案

第一條 酒精及酒精含有飲料稅法ニ依リ納付スヘキ酒精ノ造石稅ハ其ノ稅額ニ相當スル擔保ヲ提供シタルトキハ三月以内其ノ徵收ヲ猶豫スルコトヲ得

前項ニ依リ造石稅ノ徵收ヲ猶豫セラレタル者猶豫期間内ニ稅金ヲ納付セサルトキハ擔保ヲ以テ稅金ニ充ツ但シ金錢以外ノ擔保物ハ之ヲ公賣ニ付シ公賣ノ費用及稅金ニ充テ不足アルトキハ之ヲ追徵シ殘金アルトキハ之ヲ還付ス

擔保ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 造石稅ノ徵收ヲ猶豫セラレタル酒精ヲ其ノ猶豫期間内ニ工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料及稅法ノ規定スル所ニ從ヒ工業用ニ使用又ハ供給シタルトキハ其ノ石數ニ相當スル酒精ニ付テハ造石稅ヲ免除ス

第三條 前條ニ依リ造石稅ノ免除ヲ請求セムトスル者ハ申請書ニ其ノ酒精カ造石稅ノ徵收猶豫ヲ受ケタルモノナルコトヲ證スヘキ書類並工業用ニ使用又ハ供給シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ添附スルコトヲ要ス

第四條 詐偽其ノ他不正ノ所爲ヲ以テ造石稅ノ免除ヲ得又ハ得ムトシタル者ハ其ノ造石稅五倍ニ相當スル罰金ニ處ス但シ三十圓ヲ下ルコトヲ得ス

第五條 問接國稅犯則者處分法及明治三十三年法律第五十二號ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタル者ニ之ヲ準用ス

附則

本法ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○議長(長谷場純孝君) 議案ノ説明ハ前段申述ベタ通りアリマス

○伊藤大八君 是モ一括シテ同一委員ニ付託シテ、其人數ハ二十六名ト云コトニ願ヒマス

○議長(長谷場純孝君) 日程第十一ヨリ第二十マデヲ一括シテ、議長指名ノ委員三十六名ニ付託スルト云コトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ、其通り決シマス——次ハ日程第二十一乃至第二十六ハ關聯セル議案ナルニ依リ、一括シテ議題トスルニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ砂糖消費稅法中改正法律案外七件及シマス各案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ一括シテ議題ト致シマス、議案ノ朗讀ハ省略致シマス

第二十一 砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第二十二 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

第二十三 織物消費稅法案(政府提出) 第一讀會

第二十四 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

第二十五 賣藥稅法中改正法律案(政府提出)

第二十六 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

第二十七 砂金採取地稅法案(政府提出)

第二十八 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

第二十九 鑛業法中改正法律案(政府提出)

第三十 取引所稅法中改正法律案(政府提出)

第三十一 登錄稅法中改正法律案(政府提出)

第三十二 狩獵法中改正法律案(政府提出)

第三十三 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

第三十四 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

第三十五 狩獵法中改正法律案(政府提出)

第三十六 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

砂糖消費稅法中改正法律案

第三條 消費稅ノ割合左ノ如シ

第一種 砂糖色相和蘭標本第十一號未滿ノ砂糖

甲 檢入黑糖

乙 其ノ他ノモノ

第二種 砂糖色相和蘭標本第十五號未滿ノ砂糖

第三種 砂糖色相和蘭標本第十八號未滿ノ砂糖

第四種 砂糖色相和蘭標本第二十一號未滿ノ砂糖

第五種 砂糖色相和蘭標本第二十二號以上ノ砂糖

第六種 水砂糖、角砂糖、棒砂糖其ノ他類似ノモノ

二 糖蜜

第一種 水砂糖ヲ製造スルトキニ生スル糖蜜

甲 糖分ヲ蔗糖トシテ計算シタル重量全重量ノ百分比

乙 其ノ他ノモノ

超エサルモノ

第三 糖水

第七條 左ノ一項ヲ加フ

命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ承認ヲ得テ消費稅納付前又ハ擔保提供前砂

糖、糖蜜又ハ糖水ヲ製造場外ニ移出シタル場合ニ於テハ移出先ヲ以テ製

造場ト看做シ移出先ノ營業人ヲ以テ製造者ト看做ス

第八條 ノ二 砂糖、糖蜜又ハ糖水ヲ製造スル者ハ同一ノ場所ニ於テ砂糖

糖蜜若ハ糖水ノ販賣業又ハ砂糖、糖蜜若ハ糖水ヲ原料トスル砂糖、糖蜜

若ハ糖水以外ノ物品ノ製造業ヲ兼營スルコトヲ得ス但シ政府ノ認許ヲ得

右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

第一讀會

砂糖、糖蜜又ハ糖水ノ製造場ト販賣場又ハ砂糖、糖蜜若ハ糖水ヲ原料トスル砂糖、糖蜜若ハ糖水以外ノ物品ノ製造場トヲ區割シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十一條ノ二 左ノ各號ノ一二該當スル場合ニ於テハ砂糖ヲ製造シタルモノト看做ス

一 砂糖ニ加工ヲ爲シテ其ノ種別ヲ上昇シタルトキ

二 砂糖、糖蜜又ハ糖水ニ砂糖、糖蜜又ハ糖水以外ノ物品ヲ混和シ其ノ種別ヲ下降シ種別ヲ上昇シ又ハ其ノ數量ヲ増加シタルトキ但シ其ノ種別ヲ下降シタルトキ又ハ水ノミヲ混和シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

三 第八條ノ規定ニ依リ申告ヲ爲シタル製造場ニ於テ砂糖、糖蜜又ハ糖水ニ砂糖、糖蜜又ハ糖水ヲ混和シタルトキ但シ糖蜜又ハ糖水ニ同種ノ糖蜜又ハ糖水ヲ混和シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十三條ノ二 第八條ノ二ノ禁令ヲ犯シタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス但シ砂糖、糖蜜又ハ糖水ヲ原料トスル物品ヲ製造シタルトキハ第十二條ノ例ニ依ル

第九條、第十條、第十四條及第十七條中「又ハ之ヲ販賣スル者」ヲ「之ヲ販賣スル者又ハ第八條ノ二但書ノ場合ニ於ケル物品ノ製造者」ニ改ム

第十四條及第十五條中「罰金」ヲ「罰金又ハ科料」ニ改ム

附則 本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

織物消費稅法案

織物消費稅法

第一條 織物ニハ本法ニ依リ消費稅ヲ課ス

第二條 消費稅ノ税率ハ織物ノ價格百分ノ十トス

第三條 左ニ掲タルモノニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ消費稅ヲ免除ス

一 外國ニ輸出スル織物又ハ製品ト爲シテ外國ニ輸出セムトスル織物

二 製造者カ自己又ハ其ノ家族ノ用ニ供スル爲自ラ製造シタル織物

消費稅ヲ納付シタル織物又ハ之ヲ以テ製造シタル物品ヲ外國ニ輸出シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ消費稅額ニ相當スル金額ヲ交付ス

第四條 消費稅ハ製造場、税關又ハ保稅倉庫ヨリ織物ヲ引取ルトキ引取人之ヲ納付ヘシ但シ命令ノ定ムル所ニ依リ製造者ニ於テ織物ニ其ノ價格ヲ表記シ消費稅ニ相當スル印紙ヲ貼用シテ消費稅ノ納付ニ代フルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ消費稅額ニ相当スル端數ハ總テ一錢トシテ計算ス

第五條 消費稅額ニ相當スル擔保ヲ提供シタルトキハ政府ハ三月以内消費稅ノ徵收ヲ猶豫ス

第六條 消費稅ヲ納付シ又ハ消費稅額ニ相當スル擔保ヲ提供シタル者ハ其ノ織物ニ納稅濟證印ノ押捺ヲ受ケ又ハ納稅濟證ノ貼付ヲ受クルコトヲ得

第七條 左ニ掲タル場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ消費稅ヲ納付セスシテ織物ヲ引取ルコトヲ得

一 他ノ製造場ニ移出シ又ハ藏置場ニ藏置スル爲織物ヲ引取ルトキ

二 染色、捺染、刺繡其ノ他ノ加工ヲ爲ス爲製造場又ハ藏置場ヨリ織物ヲ引取ルトキ

三 一定ノ場所ニ於テ消費稅ヲ納付スル爲政府ノ定メタル條件ニ從ヒ製造場又ハ藏置場ヨリ織物ヲ引取ルトキ

前項ノ場合ニ於テハ移出先ヲ以テ製造場ト看做シ移出先ノ營業人ヲ以テ製造者ト看做ス

第八條 消費稅ヲ納付シ製造場ヨリ引取リタル織物ヲ再ヒ其ノ製造場ニ戻入シタル場合ニ於テ其ノ種類及數量ニ付政府ノ承認ヲ受ケタルトキハ其ノ織物ヲ製造場ヨリ引取ルモ更ニ消費稅ノ徵收ヲ爲サス

第九條 第四條第一項但書及第七條ノ場合ヲ除クノ外製造場、税關又ハ保稅倉庫ヨリ織物ヲ引取ル者ハ引取ノ際織物ノ價格ヲ政府ニ申告スヘシ前項ノ申告ヲ爲サス又ハ政府ニ於テ其ノ申告シタル價格ヲ不相當ト認ムルトキハ政府ハ織物ノ價格ヲ評定ス

織物引取人前項ノ評定價格ニ不服アルトキハ即時異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得異議ノ申立アリタルトキハ二人以上ノ鑑定人ヲ選定シ其ノ意見ヲ徵シ政府之ヲ決定ス

異議申立人ノ主張ニ依ル價格ト前項ノ決定價格トノ差カ第二項ノ評定價格ト前項ノ決定價格トノ差ヨリ大ナルトキハ鑑定ニ關スル費用ハ其ノ申立人ノ負擔トス

印紙ヲ貼用シタル織物ノ表記價格ヲ不相當ト認ムルトキハ政府ハ織物ノ價格ヲ評定シ其ノ差額ニ對スル消費稅ヲ追徵ス此ノ場合ニ於テハ前三項ノ規定ヲ準用ス

第十條 第五條又ハ第七條ニ該當スル場合ヲ除クノ外消費稅納付前ニ於テ製造場、税關又ハ保稅倉庫ヨリ織物ヲ引取ルコトヲ得ス

第十一條 織物製造者ハ第五條又ハ第七條ニ該當スル場合ヲ除クノ外消費稅納付前ニ於テ織物ヲ他ニ引渡スコトヲ得ス

第十二條 織物ヲ製造又ハ販賣セムトスル者ハ政府ニ申告スヘシ但シ第三條第一項第二號ニ該當スル織物ノミヲ製造セムトスル者ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 織物製造者ハ同一ノ場所ニ於テ織物ノ販賣業又ハ織物ヲ原料トスル製品ノ製造業ヲ兼營スルコトヲ得ス但シ政府ノ認許ヲ得織物ノ製造場ト販賣場又ハ織物ヲ原料トスル製品ノ製造場トヲ區割シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十四條 織物ノ製造者、販賣者及前條但書ニ該當スル製品ノ製造者ハ帳簿ヲ備へ織物又ハ製品ノ製造出入ヲ詳細明瞭ニ記載スヘン

第十五條 収稅官吏ハ織物ノ製造場、販賣場又ハ第十二條但書ニ該當スル製品ノ製造場ニ立入り織物原料、織物ヲ原料トシテ製造シタル物品种、器具、機械、建築物又ハ帳簿書類ヲ検査スルコトヲ得

第十六條 収稅官吏ハ監督上必要ト認ムルトキハ前項ノ物件ニ封印ヲ施スコトヲ得收稅官吏ハ運搬中ニ在ル織物ヲ検査シ其ノ出所及到著先ヲ質問スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ監督上必要ト認ムルトキハ收稅官吏ハ其ノ運搬ヲ停止シ又ハ荷物若ハ船車ニ封印ヲ施スコトヲ得

第十七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ消費稅五倍ニ相當スル罰金ニ處シ直ニ消費稅ヲ徵收ス但シ消費稅四圓未滿ナルトキハ罰金額ハ二十圓ト

一 第十二條 但書ニ該當スル場合ヲ除クノ外政府ニ申告セスシテ織物ヲ製造シタルトキ

二 外國ニ輸出スル爲若ハ製品ト爲シテ外國ニ輸出スル爲消費稅ヲ免除セラレタル織物又ハ之ヲ以テ製造シタル物品ヲ内地ニ於テ消費シ又ハ内地ニ於テ消費スル目的ヲ以テ之ヲ讓渡シタルトキ

三 消費稅納付前又ハ擔保提供前ニ於テ織物ヲ消費シタルトキ第七條ニ依リ引取りタル織物ヲ其ノ定メラレタル場所ニ移入セサルトキ

五 第十條 又ハ第十一條ノ規定ニ違反シタルトキ

第十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス但シ第一號ノ場合ニ於テ織物ヲ原料トスル製品ヲ製造シタルトキハ前條ノ例ニ依ル

一 第十三條ノ規定ニ違反シタルトキ

二 織物ノ製造者、販賣者又ハ第十三條 但書ノ場合ニ於ケル製品ノ製造者織物又ハ製品ノ製造出入ニ關スル帳簿ヲ調製セス又ハ其ノ記載ヲ詐リ若ハ怠リタルトキ

三 命令ノ定ムル方法ニ依リ織物ニ價格ヲ表記セス又ハ印紙ヲ貼用セサルトキ

四 収稅官吏ノ尋問ニ對シ虚偽ノ答辯ヲ爲シ又ハ其ノ職務執行ヲ拒ミ之ヲ忌避シ若ハ之ニ支障ヲ加ヘタルトキ

第十九條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタル者ニハ刑法ノ刑ノ減免及刑法第四十八條第二項ノ例ヲ用井ス

第二十條 織物ノ製造者販賣者又ハ第十三條 但書ノ場合ニ於ケル製品ノ製造者カ未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ本人ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ營業ニ關レ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條 織物ノ製造者販賣者又ハ第十三條 但書ノ場合ニ於ケル製品ノ製造者ノ代理人戸主、家族同居者、雇人ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ一錢未滿ナルトキハ一錢未滿ナルトキ又ハ一錢未滿ノ端數アルトキハ一錢未滿ノ金額ハ

本法ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

造者販賣者又ハ第十二條 但書ノ場合ニ於ケル製品ノ製造者ヲ處罰ス

非常特別稅法中織物消費稅ニ關スル規定ハ之ヲ廢止ス但シ同規定ニ依リ爲シタルモノト看做ス

賣藥稅法中改正法律案

附則 本法ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

非常特別稅法中織物消費稅ニ關スル規定ハ之ヲ廢止ス但シ同規定ニ依リ爲シタルモノト看做ス

賣藥稅法中改正法律案

第一條 本法ニ於テ賣藥營業者ト稱スルハ賣藥規則ニ依ル賣藥營業者ヲ謂

第一條 本法ニ於テ賣藥營業者ト稱スルハ賣藥規則ニ依ル賣藥營業者ヲ謂

第一條ノ二 賣藥營業者ニハ藥劑一方毎ニ一年間製造高ノ定價總額ニ應シ每年左ノ賣藥營業稅ヲ課ス

定價總額三千圓未滿ノモノ

金三圓

定價總額五百圓未滿ノモノ

金五圓

定價總額一千圓未滿ノモノ

金七圓

定價總額五千圓未滿ノモノ

金九圓

定價總額二千圓未滿ノモノ

金十二圓

定價總額一萬圓未滿ノモノ

金二十二圓

定價總額二萬圓未滿ノモノ

金三十二圓

定價總額三萬圓未滿ノモノ

金四十二圓

定價總額五萬圓未滿ノモノ

金五十七圓

定價總額七萬圓未滿ノモノ

金八十七圓

定價總額十萬圓未滿ノモノ

金一百二圓

前項ノ定價總額ハ前年中ノ總額ニ依ル但シ前年又ハ其ノ年免許ヲ受ケタル者ニ付テハ其ノ年製造高ノ豫算定價額ニ依ル

外國ニ輸出スル賣藥ニ付テハ外國ニ輸出セサル賣藥ニ準シ定メタル價格ヲ以テ定價ト看做ス

第一條ノ三 賣藥營業者ニ箇所以上ニ於テ營業スルトキハ營業場毎ニ前條ノ賣藥營業稅ヲ納ムヘシ

第一條ノ四 賣藥營業者ハ毎年一月十五日迄ニ課稅標準額ヲ所轄收稅官廳ニ申告スヘシ但シ其ノ年免許ヲ受ケタル者ハ免許ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ申告スヘシ

第一條ノ五 賣藥營業稅ハ年額ヲ二分シ一月及七月之ヲ徵收ス但シ納期限ヲ超過シテ免許ヲ受ケタル場合ニ於テハ當該納期ニ納ムヘキ稅金ハ即納トス

賣藥營業者六月以前ニ廢業シ又ハ賣藥ノ發賣ヲ禁止セラレタルトキハ七月ニ納ムヘキ稅金ハ之ヲ免除ス

第二條 賣藥ニハ定價一割ノ賣藥印紙稅ヲ課ス

定價一錢未滿ナルトキ又ハ一錢未滿ノ端數アルトキハ一錢未滿ノ金額ハ總テ之ヲ一錢トシテ賣藥印紙稅ヲ計算ス

賣藥印紙稅ハ印紙ヲ貼用シテ納ムモノトス

第三條 第五條及第十條中「賣藥稅」ヲ「賣藥印紙稅」ニ改ム

第十二條第一項中「脫稅高二十倍」ノ罰金ヲ「脫稅高二十倍」ノ罰金又ハ科料ニ改ム

「五圓ノ罰金」ヲ「五圓ノ科料」ニ第二項中「罰金ヲ」「罰金又ハ科料」ニ改ム

第十三條乃至第十五條中「罰金」ヲ「罰金又ハ科料」ニ改ム

第十三條ノ二 第一條ノ四ノ申告ヲ爲サス又ハ虛偽ノ申告ヲ爲シタル者ハ一圓以上ノ科料ニ處ス因リテ賣藥營業稅ヲ逋脫シタル者ハ脫稅金額三倍

ニ相當スル罰金又ハ科料ニ處ス

第二十條 本法ニ依リ賣藥營業稅ヲ課セラレタル者ニハ營業稅ヲ課セス

本法ハ明治四十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
賣藥規則中及非常特別稅法中賣藥營業稅ニ關スル規定ハ之ヲ廢止ス

砂金採取地稅法

第一條 砂金採取業者ニハ左ノ割合ニ依リ毎年砂金採取地稅ヲ課ス

河床ニ非サルモノ 採取區域一町毎ニ 金三十錢

前項ノ場合ニ於テ一町未滿又ハ一千坪未滿ノ端數ハ一町又ハ一千坪トシ

第二條 砂金採取地稅ノ賦課徵收ニ關シテハ鑛區稅ノ賦課徵收ニ關スル規定ヲ準用ス

附則

本法ハ明治四十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
非常特別稅法中砂金採取地稅ニ關スル規定ハ之ヲ廢止ス

鑛業法中改正法律案

第八十三條中「十錢ヲ三十錢ニ四十錢ヲ六十錢ニ改ム」
鑛業法中左ノ通改正ス

本法ハ明治四十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

非常特別稅法中鑛區稅ニ關スル規定ハ之ヲ廢止ス

登錄稅法中改正法律案

登錄稅法中左ノ通改正ス

第二條第一項第三號中「千分ノ四十ヲ千分ノ六十二、千分ノ十ヲ千分ノ三十一ニ、第四號中「千分ノ一十五ヲ千分ノ三十五ニ、第五號中「千分ノ二ヲ千分ノ五ニ、第十一號中「千分ノ二十ヲ千分ノ二十五ニ改ム」

第二條第一項第三號中「千分ノ一十ヲ千分ノ五十ニ、第四號中「千分ノ十

五ヲ千分ノ二十五ニ、第五號中「千分ノ一ヲ千分ノ三ニ改ム」
第六條及第六條ノ二中「千分ノ三ヲ千分ノ四ニ、千分ノ四ヲ千分ノ五ニ改ム」

第二條第一項第三號中「千分ノ一十ヲ千分ノ五十ニ、第四號中「千分ノ十

五ヲ千分ノ二十五ニ、第五號中「千分ノ一ヲ千分ノ三ニ改ム」
第十錢ニ改ム

第十四條中「七十五圓ヲ百圓ニ、三十五圓ヲ四十五圓ニ、百五十圓ヲ二百圓ニ改ム」
二百圓ニ改ム

附則

本法ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

非常特別稅法中登錄稅ニ關スル規定ハ之ヲ廢止ス

取引所稅法中改正法律案

第一條中「國債及ヲ削リ「萬分ノ六箇」ヲ「萬分ノ十二ニ、「萬分ノ三箇」ヲ「萬分ノ五ニ改ム」
取引所稅法中左ノ通改正ス

本法ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
非常特別稅法中取引所稅ニ關スル規定ハ之ヲ廢止ス

狩獵法中改正法律案

狩獵法中左ノ通改正ス
第十一條中「金三十圓」ヲ「金四十圓」ニ、「金二十圓」ニ、「金一圓」ヲ「金五圓」ニ改ム

本法ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
非常特別稅法中狩獵免許稅ニ關スル規定ハ之ヲ廢止ス

○伊藤大八君 是モ三十六名ノ議長指名ノ委員ニ付託セラレントラ望ミマス
〔異議ナシ〕

○議長（長谷場純孝君）御異議ナシト呼フ者アリ

乃至第四十四ハ關聯セル議案ナルニ依リ、一括シテ議題トスルニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ〕

○議長（長谷場純孝君）御異議ガナケレバ印紙稅法中改正法律案外二件及ビ各
案審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ一括シテ議題ト致シマス、議案ノ朗讀ヲ省略致シマ
ス

〔異議ナシ〕

○議長（長谷場純孝君）御異議ナシト呼フ者アリ

第五條第一項第三號中「千分ノ一十ヲ千分ノ五十ニ、第四號中「千分ノ十

五ヲ千分ノ二十五ニ、第五號中「千分ノ一ヲ千分ノ三ニ改ム」
第六條及第六條ノ二中「千分ノ三ヲ千分ノ四ニ、千分ノ四ヲ千分ノ五ニ改ム」

第二條第一項第三號中「千分ノ一十ヲ千分ノ五十ニ、第四號中「千分ノ十

五ヲ千分ノ二十五ニ、第五號中「千分ノ一ヲ千分ノ三ニ改ム」
第十錢ニ改ム

第十四條中「七十五圓ヲ百圓ニ、三十五圓ヲ四十五圓ニ、百五十圓ヲ二百圓ニ改ム」
二百圓ニ改ム

印紙稅法中改正法律案

印紙稅法中左ノ通改正ス

第四條中「一錢ヲ二錢ニ、二錢ヲ三錢ニ、二十錢ヲ二十五錢ニ改ム

第十二條中「二十圓以下ノ罰金」ヲ「一圓以上ノ科料」ニ改ム

印紙稅法中改正法律案

印紙稅法中左ノ通改正ス

第四條中「一錢ヲ二錢ニ、二錢ヲ三錢ニ、二十錢ヲ二十五錢ニ改ム

第十二條中「二十圓以下ノ罰金」ヲ「一圓以上ノ科料」ニ改ム

印紙稅法中改正法律案

印紙稅法中左ノ通改正ス

本法ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

非常特別稅法中印紙稅ニ關スル規定ハ之ヲ廢止ス

民事訴訟用印紙法中改正法律案

民事訴訟用印紙法中左ノ通改正ス

第二條中印紙金額二十錢ヲ二十五錢ニ、三十錢ヲ四十錢ニ、六十錢ヲ八十錢ニ、一圓五十錢ヲ一圓八十錢ニ、二圓二十錢ヲ二圓五十錢ニ、三圓ヲ三圓五十錢ニ、六圓五十錢ヲ七圓ニ、十圓ヲ十一圓ニ、十二圓ヲ十五圓ニ、三圓ヲ三十圓ニ、一圓ヲ三圓ニ改ム

第六條 支拂命令ノ申請ニシテ訴訟物ノ價額十圓以下ナル場合ニ於テハ二十錢ノ印紙ヲ、十圓ヲ超過スル場合ニ於テハ第二條ニ依リ第一審ノ訴狀ニ貼用スヘキ印紙金額ノ半額ノ印紙ヲ貼用スヘシ

第六條ノ二 左ニ掲タル申立又ハ申請ニシテ訴訟物ノ價額又ハ請求ノ價額二十圓以下ナル場合ニ於テハ二十錢ノ印紙ヲ、二十圓ヲ超過スル場合ニ於テハ四十錢ノ印紙ヲ貼用スヘシ

一期日ノ變更、辯論ノ延期又ハ辯論期日ノ指定ノ申立

中斷又ハ中止シタル訴訟手續ノ受繼ノ申立

從參加ノ申請

忌避ノ申請

和解ノ申立

費用額確定ノ申請

假執行宣言ノ申立

強制執行ノ停止若ハ續行又ハ執行處分ノ取消ノ申立

配當要求

十九 家資分散ノ申立又ハ家資分散者ノ復權ノ申立

十一 強制競賣又ハ強制管理ノ申立

十二 債權又ハ他ノ財產權差押ノ申請

十三 民事訴訟法第七百三十二條乃至第七百三十四條ノ申立

十六條ノ三 左ニ掲タル申立又ハ申請ニシテ訴訟物ノ價額又ハ請求ノ價額二十圓以下ナル場合ニ於テハ五十錢ノ印紙ヲ、二十圓ヲ超過スル場合ニ於テハ一圓ノ印紙ヲ貼用スヘシ

一 抗告

二 故障

三 證據調査ノ申立

四 假差押又ハ假處分ノ申請

五 判決送達ノ申立

六 執行力アル正本ヲ求ム申立但二通以上ヲ求ムルトキハ一通毎ニ印紙ヲ貼用スヘシ

第七條 左ノ一項ヲ加フ

民事訴訟法第三百九十一條第二項ノ規定ニ依リ訴訟カ區裁判所ニ繫屬スル場合又ハ第六條ニ依リ貼用シタル印紙ノ額ハ訴訟ニ付キ貼用スヘキ印紙ノ額ニ之ヲ通算スヘシ

第十條 答辯書其他前數條ニ掲ケサル申立又ハ申請ニシテ訴訟物ノ價額又ハ請求ノ價額二十圓以下ナル場合ニ於テハ二十錢ノ印紙ヲ、二十圓ヲ超過スル場合ニ於テハ二十五錢ノ印紙ヲ貼用スヘン

ハ請求ノ價額二十圓以下ナル場合ニ於テハ二十錢ノ印紙ヲ、二十圓ヲ超過スル場合ニ於テハ二十錢ノ印紙ヲ貼用スヘン

第十六條 非訟事件ニ關スル申立又ハ申請ニシテ請求ノ價額二十圓以下ナル場合ニ於テハ二十錢ノ印紙ヲ貼用スヘン但第六條ノ三ノ規定ハ非訟事件ニ之ヲ準用ス

左ニ掲タル申立又ハ申請ニシテ請求ノ價額二十圓以下ナル場合ニ於テハ五十錢ノ印紙ヲ、二十圓ヲ超過スル場合ニ於テハ一圓ノ印紙ヲ貼用スヘン

第五十條ノ二ノ規定ハ之ヲ非訟事件ニ準用ス

一 裁判上代位ノ申請

二 競賣法ニ依ル競賣ノ申立

三 裁判上ノ代位、競賣法ニ依ル競賣又ハ不動産登記ニ關スル抗告非訟事件ニ關スル申立又ハ申請ニシテ請求ノ價額ナキモノハ其請求ノ價額二十圓以下ノセノト看做ス

第十一條及ヒ第十二條ノ規定ハ之ヲ非訟事件ニ準用ス

附 則 本法ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

非常特別稅法中民事訴訟用印紙ニ關スル規定ハ之ヲ廢止ス

商事非訟事件印紙法中左ノ通改正ス

第二條中「五十錢ヲ一圓ニ改ム」

第三條中「二十錢ヲ二十五錢ニ改ム」

第四條中印紙金額四十錢ヲ五十錢ニ、六十錢ヲ八十錢ニ、一圓ニ

十錢ヲ一圓六十錢ニ、三圓ヲ三圓六十錢ニ、四圓四十錢ヲ五圓ニ

ニ、六圓ヲ七圓ニ、十三圓ヲ十四圓ニ、二十圓ヲ二十四圓ニ、二

十六圓ヲ三十圓ニ、三十圓ヲ三十六圓ニ、四十圓ヲ五十圓ニ、五

十圓ヲ六十圓ニ、六十圓ヲ八圓ニ改ム

本法ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

非常特別稅法中商事非訟事件印紙ニ關スル規定ハ之ヲ廢止ス

行政訴訟書類印紙貼用廢止ニ關スル法律案

非常特別稅法中行政訴訟ノ書類ニ印紙ヲ貼用スルコトニ關スル規定ハ明治四十三年三月三十一日限り之ヲ廢止ス

○伊藤大八君 唯今ノ内四十五ハス

○議長(長谷場純孝君) 四十五四十六ハ此次ニ議題ト致シマス

○伊藤大八君 是ハ三十六名ノ委員ニ付託セシコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 三十七乃至四十四ハ三十六名ノ議長指名ノ委員ニ付託スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシ異議ナシノ聲起ル

四十五四十六明治四十一年法律第三十七號中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キ、議案ノ朗讀ハ省略致シマス

第四十五

明治四十一年法律第三十七號中改正法律

第一讀會

第四十六

案(政府提出)

右議案ノ審査付託スヘキ委員ノ選舉

明治四十一年法律第三十七號中改正法律案
第一條 北海道府縣其ノ他ノ公共團體ハ左ノ制限以内ノ地租附加稅又ハ

段別割ヲ課スルノ外土地ニ對シテ課稅スルコトヲ得ス

一 北海道、府縣(沖繩縣ヲ除ク)、沖繩縣ノ區及町村

附加稅ノミヲ課スルトキ

其ノ他ノ土地地租千分ノ百三十三

段別割ノミヲ課スルトキ

其ノ他ノ土地地租千分ノ二百七十三

段別割ノミヲ課スルトキ 一段歩ニ付

每地目平均金四十錢

附加稅及段別割ヲ併課スル場合ニ於テハ段別割ノ總額ハ其ノ地目ノ

地租額宅地ニ在リテハ千分ノ百三十三、其ノ他ノ土地ニ在リテハ千

分ノ二百七十三ト附加稅額トノ差額ヲ超ユルコトヲ得ス

二 其ノ他ノ公共團體

附加稅ノミヲ課スルトキ

其ノ他ノ土地地租千分ノ八十九

段別割ノミヲ課スルトキ 一段歩ニ付

每地目平均金四十錢

附加稅及段別割ヲ併課スル場合ニ於テハ段別割ノ總額ハ其ノ地目ノ

地租額宅地ニ在リテハ千分ノ八十九、其ノ他ノ土地ニ在リテハ千

分ノ百八十二ト附加稅額トノ差額ヲ超ユルコトヲ得ス

第二條 中百分ノ一十五ヲ百分ノ十一ニ、百分ノ三十五ヲ百分ノ十五ニ改ム

第三條 中百分ノ十ヲ百分ノ五ニ、百分ノ三十五ヲ百分ノ十七ニ改メ

左ノ一項ヲ加フ

第二種ノ所得ニ對シテハ附加稅ヲ課スルコトヲ得ス

第五條 第三項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ地租附加稅及段別割ヲ併課シタル場合ニ於テハ一地目ニ對スル賦課

カ制限ニ達シタルトキハ附加稅カ制限ニ達シタルモノト看做ス其ノ段別

割ノミヲ賦課シタル場合ニ於テ一地目ニ對スル賦課カ制限ニ達シタルト

キ亦同シ

第六條 削除

附則

本法ハ明治四十四年度分ヨリ之ヲ適用ス但シ所得稅附加稅ニ付テハ明治四

十三年度分ヨリ之ヲ適用ス

明治四十四年一月一日以後ニ於テ明治四十三年度分地租附加稅ヲ賦課スル

場合ニ於テハ明治四十三年分ノ定率地租ヲ以テ課稅標準トス

明治四十三年一月一日以後同年三月三十一日以前ニ於テ事業年度ノ終了ス

ル法人ノ所得ニ對シ所得稅附加稅ヲ賦課スル場合及明治四十四年一月一日

以後同年三月三十一日以前ニ於テ廢業スル營業ニ對スル營業稅附加稅ヲ賦課スル場合ニ於テハ本法ニ規定スル制限ニ依ル

○伊藤大八君 是モ第一ノ前ノ同一委員ニ付託セラレントコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 第一ヨリ第十五名ノ委員デスカ

○伊藤大八君 ソレニ付託セラレントコトヲ望ミマス
○議長(長谷場純孝君) 伊藤君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕明治四十五ハ第一ヨリ第十五名ノ委員ニ付託スルコトニ致シマス
第一條 調鹽地整理ニ關スル法律案
第一條 調鹽地整理ニ關スル法律案
第一條 調鹽專賣法第六條及第四十條ノ一二依リ鹽又ハ鹹水ノ製造區域ヲ制限スル場合ニ於テハ政府ハ鹽又ハ鹹水ノ種類、製造方法ヲ區別シテ之ヲ制限スルコトヲ得

鹽又ハ鹹水製造區域ノ制限ニ依リ鹽又ハ鹹水ノ製造ヲ禁止シタルトキハ政府ハ禁止ノ際ニ於ケル鹽又ハ鹹水ノ製造者、製鹽地ノ所有者、現ニ鹽又ハ鹹水ノ製造ニ專用スル建物設備器具器械ノ所有者ニ對シ其ノ請求ニ依リ命令ノ定ム所ニ從ヒ交付金ヲ下付ス

前項ノ鹽又ハ鹹水ノ製造者ハ明治四十二年十二月以前ニ於テ鹽又ハ鹹水製造ノ許可ヲ受ケ製造禁止ノ際現ニ其ノ製造ヲ爲ス者ニ限ル但シ相續ニ因リ鹽又ハ鹹水ノ製造ヲ承繼シタル場合ニ於テハ被相續人ノ受ケタル製造ノ許可ハ相續人ニ於テ之ヲ受ケタルモノト看做ス

明治四十二年十二月ニ於ケル現狀ニ依リ鹽又ハ鹹水ノ製造ヲ廢止シタルモノト認ムヘキ製鹽地及之ニ附屬スル建物設備器具器械ニ付テハ第二項ノ交付金ヲ下付セス

明治四十二年十二月以前ニ於テ鹽又ハ鹹水ノ製造ニ著手セサル製鹽地及之ニ附屬スル建物設備器具器械ニ付亦前項ニ同シ但シ明治四十二年十二月以前ニ於テ工事ニ著手シタル製鹽地又ハ製鹽地ニ附屬シタル建物設備器具器械ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

交付金ヲ下付スヘキ建物設備器具器械ノ種類數量ハ政府之ヲ決定ス

第二條 交付金ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ定ム

一 鹹製造者ニ對シテハ其ノ一年間納付鹽賠償金額ノ二割ニ相當スル金額

二 鹹水製造者ニ對シテハ其ノ一年間鹹水賣渡代金ノ二割ニ相當スル金額

三 製鹽地所有者ニ對シテハ製鹽地ノ價額ヨリ鹽又ハ鹹水製造禁止後ニ於ケル其ノ見込價額ヲ控除シタル金額

四 鹹又ハ鹹水製造專用ノ建物設備器具器械ノ所有者ニ對シテハ其ノ建物設備器具器械ノ價額ヨリ鹽又ハ鹹水製造禁止後ニ於ケル其ノ見込價額ヲ控除シタル金額

第三條 前條製鹽地ノ價額ハ其ノ製鹽地納付鹽賠償金額ノ百分ノ十一ノ二十倍ニ相當スル金額トス

第四條 前二條ノ納付鹽賠償金額ハ明治四十一年及明治四十二年ノ納付鹽賠償金額ノ平均ニ依リ之ヲ定ム但シ明治四十一年二月以後鹽ノ製造ニ著

手シタル場合ニ於テハ明治四十二年ノ納付鹽賠償金額ニ依ル
明治四十一年中又ハ明治四十二年中鹽ノ製造ヲ繼續セサルトキハ前條ノ
納付鹽賠償金額ハ兩年ノ中鹽ノ製造ヲ繼續シタル年ノ納付鹽賠償金額ニ

依ル
製鹽地所有者又ハ鹽ノ製造者ニ異動ヲ生シ製鹽地ニ對スル明治四十一年
分又ハ明治四十二年分納付鹽ノ數量ヲ區分シ難キトキハ前條ノ納付鹽賠

償金額ハ兩年ノ中納付鹽ノ數量ヲ區分シ得ヘキ年ノ納付鹽賠償金額ニ依
ル

鹹水賣渡代金ハ第一項ノ規定ニ準シ之ヲ定ム

第五條 左ノ場合ニ於テハ製鹽地ノ價額ハ前二條ノ規定ニ拘ラス鑑定人ノ
意見ヲ徵シ政府之ヲ決定ス

一 鹹田ニ依ラスシテ鹽ヲ製造スルトキ

二 明治四十一年中及明治四十二年中共ニ鹽ノ製造ヲ繼續セス又ハ前條
第一項但書ノ場合ニ於テ明治四十二年中鹽ノ製造ヲ繼續セサルトキ

三 明治四十二年二月以後ニ於テ鹽ノ製造ニ著手シタルトキ

四 製鹽地ノ所有者又ハ鹽ノ製造者ニ異動ヲ生シ製鹽地ニ對スル明治四
十一年分及明治四十二年分納付鹽ノ數量ヲ共ニ區分シ難キトキ

五 所有者ヲ異ニスル製鹽地ノ間又ハ前四號ノニ該當スル製鹽地ト他
ノ製鹽地トノ間ニ納付鹽ノ數量ヲ區分シ難キトキ

六 第一條第五項但書ノ規定ニ該當スルトキ

第七條 前二條ノ決定ニ對シ不服アル者ハ十日以内ニ其ノ申立ヲ爲スコト
ヲ得此ノ場合ニ於テハ政府ハ更ニ鑑定人ヲ選定シ其ノ意見ヲ徵シ之ヲ裁
定ス

第八條 交付金ノ總額ハ三百四十萬圓以内トス
交付金ハ額面金額ニ依リ五分利付國債證券ヲ以テ之ヲ給付ス但シ國債證
券ノ最小額面金額ニ満タサル端數ハ現金ヲ以テ之ヲ給付ス

第九條 政府ハ前條ノ給付ニ必要ナル國債證券ヲ發行スルコトヲ得
第十條 鹹又ハ鹹水ノ製造ヲ禁止シタル區域内ニ於ケル鹽又ハ鹹水製造專
用ノ建物設備器具器械ニ對シテハ政府ハ監督上必要ナル處分ヲ爲スコト
ヲ得

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議がナイト認メマスカラ、日程第四十八右議案審査ヲ
付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス
委員ニ合併シテ付託センコトヲ希望致シマス
〔異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

第四十八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
○議長(長谷場純孝君) 御異議がナイト認メマスカラ、日程第四十八右議案審査ヲ
付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス
〔異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 今長晴登君ヨリノ動議、本案ハ日程三十七ヨリ四十四マ
デ、一括シタル同一委員ニ付託スルコトニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議がナイト認メマスカラ、其通リ決シマス——日程第
四十九關稅定率法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キ、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス
〔異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

關稅定率法改正法律案

關稅定率法改正法律案

第一條 外國ヨリ輸入スル物品ニハ別表ニ依リ關稅ヲ課ス

第二條 從價稅品ハ輸入港ニ到著レタルトキノ價格ニ依リテ課稅ス
從價稅ニ代フルニ從量稅ヲ以テスルトキノ便宜トスル物品ニ付テハ六
月以上ノ平均價格ニ依リ換算シ勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第三條 前項ノ從量稅率ハ物品ヲ細別シ又ハ風袋込ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得
第四條 條約ニ依ル特別協定ノ便益ヲ受ケサル地域ノ生產品ニ對シ必要ア
ルトキハ勅令ヲ以テ地域及物品ヲ指定シ該協定ノ限度ヲ超エサル便益ヲ
與フルコトヲ得

第五條 本邦ノ船舶又ハ生產品ニ對シ他國ノ船舶又ハ生產品ヨリモ不利益
ナル取扱ヲ爲ス國ノ生產品ニ對シテハ勅令ヲ以テ物品ヲ指定シ別表ニ定
メタル

第六條 外國ニ於テ輸出獎勵金ヲ受クル物品ニ對シテハ別表ニ定メタル關
稅ノ外勅令ヲ以テ獎勵金ト同額ノ關稅ヲ課スルコトヲ得

第七條 左ノ物品ニハ輸入稅ヲ免ス

第一 御料品 二 本邦ニ來遊スル外國ノ元首及其ノ一族並其ノ從者ニ屬スル物品
陸海軍ノ輸入ニ係ル兵器彈藥及爆發物

七 六五 三四 本邦大使館又ハ公使館ノ館員ニ屬スル自用品ニ對シ關稅ヲ免除スル
國ノ在本邦大使館又ハ公使館ノ館員ニ屬スル自用品及本邦領事館ニ
ニ於ケル比重〇・八七五ヲ超エタルモノ

軍艦

一 本邦ニ派遣セラレタル外國ノ大使又ハ公使ニ屬スル自用品並在本邦
外國大使館又ハ公使館ニ屬スル公用

二 本邦大使館又ハ公使館ノ館員ニ屬スル自用品ニ對シ關稅ヲ免除スル
國ノ在本邦大使館又ハ公使館ノ館員ニ屬スル自用品及本邦領事館ニ
ニ於ケル比重〇・八七五ヲ超エタルモノ

記錄文書其ノ他ノ書類

官立公立ノ學校、博物館、物品陳列所其ノ他ノ營造物ニ陳列スル標本
又ハ參考品トシテ輸入スル物品

又ハ慈善又ハ救恤ノ爲ニ寄贈シタル物品

政府ノ輸入ニ係ル政府ノ專賣品

商品ノ見本但シ見本用ニミ適スルモノニ限ル

旅客ノ用品及旅客ノ職業上必要ナル器具但シ旅客ノ身分ニ相當ス
○議長(長谷場純孝君) 是ハ第四番目ノ委員、即チ印紙稅法中改正法律案等ノ三十六名ノ
委員ニ合併シテ付託センコトヲ希望致シマス
〔異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

(別表)

輸入稅表

番號

名

單位

稅

第一類 植物及動物(生活力ヲ有スルモノ)
一 植物枝幹莖及根(栽植用又ハ接木用ノモノ)

二 培殖用菌類
一 酵母

甲 壓榨シタルモノ
乙 其ノ他

二 魚
三 其ノ他

牛
馬
綿羊
山羊
豚
家禽類
魚介類
一 種魚及魚卵

二 其ノ他

蜜
蜂
別號ニ掲ケサル動物
第一類 豩物、穀粉、澱粉類及種子
米及粉
大麥
オート
巴爾巴一
栗
麥芽
小麥
高粱
豆類
玉蜀黍
大豆
落花生
綠豆
豌豆
七 甲 乙
其ノ他
其ノ他(醫藥用ノモノヲ除ク)

同	同	同	同	同	同	同	同	同	從	從	每百斤	價	價	頭	價	價	每百斤	無	無	無
○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	二	二	四〇〇	四〇〇	四〇〇	二	二	二	二	二	二	二
四五五	八〇〇	五〇〇	六五	六五	六五	六五	六五	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇						

- 十五 ルモノニシテ稅關カ適當ト認メタルモノニ限ル
在外軍隊及軍艦ヨリ送還シタル物品
- 十六 個人ニ屬スル引越荷物但シ既ニ使用セラレタルモノニ限ル
輸出シタル物品ニシテ五年以内ニ輸入セラレ輸出ノ時ノ性質及形狀ヲ變セサルモノ但シ酒精、酒類、砂糖及第八條又ハ第九條ニ依リ輸入稅ノ免除又ハ拂戻ヲ受ケタル物品ヲ除ク
- 十七 命令ヲ以テ指定シタル輸出貨物ノ容器ニシテ再輸入スルモノ
本邦ヨリ出漁セル船舶ヲ以テ捕獲採取シタル魚介類、海獸、海藻其ノ他ノ水產物及其ノ製品ニシテ工程ノ簡單ナルモノ但シ當該船舶又ハ之ニ附屬セル船舶ヲ以テ輸入シタルモノニ限ル
- 十八 外國航行ノ艦船ニ船用ノ爲開港内ニ於テ引渡ス物品
難破シタル爲積戻リタルモノ
- 十九 本邦ヨリ出港レタル船舶ニ搭載シタル輸出貨物ニレテ該船舶難
- 二十 本邦船舶ニ解體材及機裝品
- 二十一 難破シタル爲積戻リタルモノ
- 二十二 本邦ヨリ出港レタル船舶ニ搭載シタル輸出貨物ニレテ該船舶難
- 二十三 國道、府縣ノ輸入スル種馬、種牛、種豚、種羊及種禽並產牛馬組合、產馬組合又ハ產牛組合ノ輸入スル種馬種牛
- 二十四 學術研究ノ爲輸入スル物品
- 二十五 試驗品トシテ輸入スルモノ
- 二十六 注文取集ノ爲輸入スル見本品
- 二十七 演劇其ノ他興行用ノ爲輸入スル物品
- 二十八 第九條 左ノ物品ニシテ輸入ノ日ヨリ一年以内ニ再ヒ輸出スルモノニハ輸入稅ヲ免ス但シ輸入ノ際稅金ニ相當スル擔保ヲ提供スルコトヲ要ス
- 二十九 第九條 左ノ物品ニシテ輸入ノ際稅金ニ相當スル擔保ヲ提供スルコトヲ得
- 三十 加工ノ爲輸入スル物品ニシテ命令ヲ以テ指定シタルモノ
- 三十一 輸入貨物ノ容器ニシテ命令ヲ以テ指定シタルモノ
- 三十二 修繕ノ爲輸入スル物品
- 三十三 輸入原料品ヲ用井命令ヲ以テ指定シタル肥料ヲ製造シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ輸入稅ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ得スコトヲ得
- 三十四 輸入原料品ヲ用井命令ヲ以テ指定シタル肥料ヲ製造シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ輸入稅ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ得スコトヲ得
- 三十五 輸出シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ輸入稅ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ得スコトヲ得
- 三十六 稅法第七十五條ノ例ニ依リ處分ス
- 三十七 第十條 輸入製品ニシテ内國ニ於テ製造スル船舶ニ備付ケ又ハ取付ケ輸入ノ日ヨリ二年以内ニ該船舶ト共ニ輸出スルモノハ輸入稅ヲ免ス但シ輸入ノ際稅金ニ相當スル擔保ヲ提供スルコトヲ要ス
- 三十八 稅法第七十五條ノ例ニ依リ處分ス
- 三十九 第十一條 左ニ掲タル物品ハ輸入ヲ禁ス
- 四十 阿片及阿片吸煙具但シ政府ノ輸入スルモノヲ除ク
- 四十一 僞造、變造又ハ模造ノ貨幣紙幣銀行券及有價證券
- 四十二 公安又ハ風俗ヲ害スヘキ書籍圖畫影刻物其ノ他ノ物品
- 四十三 特許權、實用新案權、意匠權、商標權及著作權ヲ侵害スル物品
- 四十四 附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

容 器 共 斤	每 百 斤	同 器 共 斤	同 百 斤	容 器 共 斤	每 百 斤	同 器 共 斤	同 百 斤	從 器 價 共 斤	容 器 共 斤	每 百 斤	從 器 價 共 斤	容 器 共 斤	每 百 斤	從 器 價 共 斤	四 四 割	四 四 割	一 一 割	一 一 割
一 一 ○ ○	一 五 三 ○	七 九 ○	一 三 三 ○	一 七 五 ○	三 一 ○ ○	一 三 六 五	七 一 ○ ○	二 二 五 ○	三 三 三 五	一 一 五 ○	八 三 五 ○	九 三 五	一 一 七 ○	四 三 ○ ○	六 ○ ○	一 一 五 一 分 ○ ○	一 一 五 一 分 ○ ○	
一 一 ○ ○	一 五 三 ○	七 九 ○	一 三 三 ○	一 七 五 ○	三 一 ○ ○	一 三 六 五	七 一 ○ ○	二 二 五 ○	三 三 三 五	一 一 五 ○	八 三 五 ○	九 三 五	一 一 七 ○	四 三 ○ ○	六 ○ ○	一 一 五 一 分 ○ ○	一 一 五 一 分 ○ ○	
一 一 ○ ○	一 五 三 ○	七 九 ○	一 三 三 ○	一 七 五 ○	三 一 ○ ○	一 三 六 五	七 一 ○ ○	二 二 五 ○	三 三 三 五	一 一 五 ○	八 三 五 ○	九 三 五	一 一 七 ○	四 三 ○ ○	六 ○ ○	一 一 五 一 分 ○ ○	一 一 五 一 分 ○ ○	
一 一 ○ ○	一 五 三 ○	七 九 ○	一 三 三 ○	一 七 五 ○	三 一 ○ ○	一 三 六 五	七 一 ○ ○	二 二 五 ○	三 三 三 五	一 一 五 ○	八 三 五 ○	九 三 五	一 一 七 ○	四 三 ○ ○	六 ○ ○	一 一 五 一 分 ○ ○	一 一 五 一 分 ○ ○	

五一	食酢	ソース
五二	鳥獸肉及魚介類	其ノ他
一	生鮮ナルモノ	樽入ノモノ
甲	牛肉	其ノ他
乙	羊肉	其ノ他
丙	鳥獸肉	其ノ他
二	罐詰、礪詰又ハ壺詰ノモノ	其ノ他
甲	魚介類	其ノ他
乙	鯷油漬	其ノ他
丙	鹽鯷肉	其ノ他
丁	鹽鯷尾肉	其ノ他
戊	鹹魚	其ノ他
己	鹹魚	其ノ他
一	人造バター及ギー	バター、人造バター及ギー
チ	スドミルク	コンデンスドミルク
ース	バター	バットン、ソマトーゼ、ヘモグロビン其ノ他
五七	肉越幾斯	類似ノ滋養食料
五八	支那酒(釀造シタルモノ)	支那酒(釀造シタルモノ)
五九	諸飲料	礪水、曹達水其ノ他砂糖又ハ酒精ヲ含マサル
六〇	清酒	礪水(生鮮ナルモノ)
六一	六二	六三

同	同	同	同	同	同	從	同	同	同	同	同	每	從	同	同	同	每	同	每	百	百	百	百	百	斤	斤	斤	斤	斤	斤
無						一	二	一	二	三	一	無	二	無	無	無	二	五	六	五	九	六	一	二	五	五	○	○		
二	三	四	○	○	○	五	○	七	二	二	四	一	一	一	一	二	八	三	一	五	一	○	二	七	一	九	○	○		
稅	○	六	九	八	三	○	七	二	五	二	四	八	六	一	一	一	二	八	三	一	五	一	九	二	七	一	五	○	○	
稅	○	○	五	○	五	○	○	○	割	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	稅	割	五	○	○	○	稅	稅	稅	稅

一六九	硫酸曹達
一七〇	精製ノモノ
一七一	其ノ他
一七二	硅酸曹達(硼砂)
一七三	硼酸曹達(硼砂)
一七四	青化曹達及青化加里
一七五	硝酸加里(硝石)
一七六	硫酸加里
一七七	重クローム酸加里
一七八	ヨード加里
一七九	ブローム加里
一八〇	炭酸マグネシウム
一八一	過酸化バリウム
一八二	明礬
一八三	フェロ青化曹達
一八四	フェリ青化曹達
一八五	フェロ青化加里(黃色血滷鹽)
一八六	フェリ青化加里(赤色血滷鹽)
一八七	次硝酸銻鉛
一八八	硫酸アムモニウム
一八九	硫酸アムモニウム
一九〇	炭酸アムモニウム
一九一	硝酸トリウム
一九二	硝酸セリウム
一九三	醋酸石灰
一九四	アセトン
一九五	木精
一九六	酒精
一九七	木精
一九八	變性酒精
一九九	グリセリン
二〇〇	クロロフォルム
二〇一	ヨードフォルム
二〇二	ナフタリン
二〇三	乳糖
二〇四	サツカリン其ノ他類似ノ甘味物

甲ノ二	百平方メートルニ付十キロ グラムヲ超エサルモノ テ五ミリメートル平方内ニシ 於ケル經緯ノ絲數 十九ヲ超エサルモノ
其ノ他	四十三ヲ超エサルモノ
甲ノ三	百平方メートルニ付二十キ ログラムヲ超エサルモノニ シテ五ミリメートル平方内 ニ於ケル經緯ノ絲數 十九ヲ超エサルモノ
其ノ他	二十七ヲ超エサルモノ 三十五ヲ超エサルモノ 四十三ヲ超エサルモノ
甲ノ四	百平方メートルニ付三十キ ログラムヲ超エサルモノニ シテ五ミリメートル平方内 ニ於ケル經緯ノ絲數 十九ヲ超エサルモノ
其ノ他	二十七ヲ超エサルモノ 三十五ヲ超エサルモノ 四十三ヲ超エサルモノ
甲ノ五	百平方メートルニ付五十キ ログラムヲ超エサルモノ シテ五ミリメートル平方内 ニ於ケル經緯ノ絲數 十九ヲ超エサルモノ
其ノ他	二十七ヲ超エサルモノ 三十五ヲ超エサルモノ 四十三ヲ超エサルモノ
甲ノ一	紋織布及撻織布(別號ニ掲ケサルモノ) 生地ノモノ
其ノ他	百平方メートルニ付五キロ グラムヲ超エサルモノニシ テ五ミリメートル平方内ニ 於ケル經緯ノ絲數 十九ヲ超エサルモノ
甲	丙
乙	八
甲	八
甲ノ一	百平方メートルニ付五キロ グラムヲ超エサルモノニシ テ五ミリメートル平方内ニ 於ケル經緯ノ絲數 十九ヲ超エサルモノ

甲ノ二	百平方メートルニ付十キロ グラムヲ超エサルモノニシテ五ミリメートル平方内ニ於ケル經緯ノ絲數十九ヲ超エサルモノ
甲ノ三	百平方メートルニ付二十キログラムヲ超エサルモノニシテ五ミリメートル平方内ニ於ケル經緯ノ絲數三十五ヲ超エサルモノ
甲ノ四	百平方メートルニ付三十キログラムヲ超エサルモノニシテ五ミリメートル平方内ニ於ケル經緯ノ絲數四十三ヲ超エサルモノ
甲ノ五	百平方メートルニ付三十七ヲ超エサルモノ
甲ノ一	百平方メートルニ付三十五ヲ超エサルモノ
甲	其ノ他
ニハロイ	ニハロイ
テ五	ミリメートル平方内ニ於ケル經緯ノ絲數十九ヲ超エサルモノ
三十五ヲ超エサルモノ	三十七ヲ超エサルモノ
四十三ヲ超エサルモノ	四十五ヲ超エサルモノ

甲ノ二	百平方メートルニ付十キロ グラムヲ超エサルモノニシテ五ミリメートル平方内ニ於ケル經緯ノ絲數十九ヲ超エサルモノ
甲ノ三	百平方メートルニ付二十キログラムヲ超エサルモノニシテ五ミリメートル平方内ニ於ケル經緯ノ絲數二十七ヲ超エサルモノ 三十五ヲ超エサルモノ 四十三ヲ超エサルモノ 其ノ他
甲ノ四	百平方メートルニ付三十キログラムヲ超エサルモノニシテ五ミリメートル平方内ニ於ケル經緯ノ絲數二十七ヲ超エサルモノ 三十五ヲ超エサルモノ 四十三ヲ超エサルモノ 其ノ他
甲ノ五	其ノ他
乙	單ニ漂白シタルモノ
丙	其ノ他
交織物及此等ノ纖維ト綿トノ交織物	天鷲絨、プラッシュ其ノ他ノパイル纖物(パイルヲ切リダルト否トヲ別タス)
甲	黃麻布
五	織布(篠布ヲ除ク) 平織布、紋織布及繡織布(別號ニ掲ケ タルモノ)
四	繩 織布
三	二
二	一
一	亞麻、苧麻、ラミー、大麻又ハ黃麻ノ織物、其ノ 交織物及此等ノ纖維ト綿トノ交織物
九	九
九	九

三〇四	別號ニ掲ケサル交織布
三〇五	メリヤス地其ノ他類似ノ編ミタル布帛(超物(バイルヲ切リタルト否トヲ別タス))
二	其ノ他
一	天蠶絨、プラッシュニ其ノ他ノバイル織毛シタルト否トヲ別タス)
二	其ノ他
一	綿製又ハ綱入ノモノ
三〇六	レース地及網地
一	窓掛地
甲	綿製ノモノ
乙	其ノ他
二	蚊螭地
甲	綿製ノモノ
乙	其ノ他
三	ヴエーリング
甲	綿製又ハ綱入ノモノ
乙	其ノ他
四	漁網地及獵網地
五	其ノ他
三〇七	フェルト地
一	毛製又ハ毛綿製ノモノ
二	其ノ他
刺繡布	ブックバインダースクローラ トレーシングクローラ アーチストカンヴァス ウインドーホルランド エンバイアクロース 革布 牀用油布及リノリューム ルーフィングカンヴァス カードカンヴァス 金剛砂布(硝子粉ヲ塗リタルモノヲ含ム)
三〇八	三〇九
三一〇	三一一
三一一	三一二
三一六	三一五
三一七	三一四
三一八	三一三
三一九	三〇九
三一〇	三〇八
三一一	三〇七

每從同同同同	從同	每從同同	從同	同同	每從	從	同同
百	百	百	百	百	百	百	百
斤價	斤價	斤價	斤價	斤價	斤價	斤價	斤價
三	三	四	三	三	六八〇、〇〇	二一〇、〇〇	五四、一〇〇
二七五割	二六六〇〇〇	三〇、一〇〇	六四二〇	二〇、〇〇	二割五分	七八、〇〇	二七〇〇
一	二	三	四	五	四	五	七五〇
七	六	五	四	三	八	六	五
五	四	三	二	一	七	六	五

三一九	防水布(護謨ヲ塗リ又ハ挿入レタルモノ)	
二〇	護謨入布及護謨紐類	
一	幅八センチメートルヲ超ユタルモノ	
甲	絹製又ハ絹入ノモノ	
乙	其ノ他	
二	其ノ他	
甲	織リタルモノ	
乙	其ノ他	
二	其ノ他	
甲	織入ノモノ	
乙	其ノ他	
二	其ノ他	
甲	イ イ ロ ロ	絹入ノモノ 絹入ノモノ 其ノ他 其ノ他
乙	其ノ他	
三二一	インシユレークテープ(布帛ヲ用井タルモノ)	
三二二	ランプ心	
三二三	タイプライターリボン	
三二四	手巾(單製ノモノ)	
三二五	一 編製ノモノ 二 純製ノモノ 三 亞麻製ノモノ 四 絹製又ハ絹入ノモノ	
三二六	旅籠(單製ノモノ)	
三二七	一 其ノ他 二 絹製又ハ絹入ノモノ	
三二八	地氈(單製連製ヲ別タス)	
一	毛製又ハ毛入ノモノ	
甲	バイル織ノモノ	
甲ノ一	バイルヲ組成スル絲力一系	
イ	バイルヲ切リタルモノ	
甲ノ二	其ノ他	

同	同	同	同	同	每	從	每	同	從	同	同	每	從	每	同	同	從	同	同	每	從
					百	百	百	百	打	百	百	斤	價	百	斤	價	百	斤	價	百	斤
					斤	斤	斤	斤	打	斤	斤	斤	價	斤	價	斤	斤	價	斤	價	
四四、五〇	三六、一〇	二一、四〇	一三、一〇	六〇、〇〇	一三、一〇	二五、八〇	三〇、四〇	三割五分	四〇、〇〇	三五	七三、二〇	八三、七〇	二五、九〇	三一	一九、六〇	三四	三四	四	一四八、〇〇	五七、四〇	

二七、一〇												一七、一〇															
三三、一												三三、〇															
同	每	百	斤	同	同	同	同	同	同	同	同	從	每	百	斤	同	同	同	同	同	同	從	每	百	斤	價	
三	一	五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	四	九	三	〇	〇	四	五	九	三	〇	〇	六	〇	〇	〇	
二	二	四	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	四	三	九	五	〇	四	五	九	八	二	〇	〇	〇	〇		
一	一	四	四	五	五	五	五	五	五	五	五	割	割	割	割	割	割	割	割	割	割	割	割	割	割		
三	四	八	三	四	七	三	四	六	三	四	五	雨衣	一	革製又ハ綿入ノモノ	本類中綿ナル名稱ハ人造綿ヲ包含スルモノトス	一	別號ニ掲ケサル布帛	一	羽毛ヲ填充シタルモノ	二	其ノ他	一	織製又ハ綿入ノモノ	二	其ノ他	一	織製又ハ綿入ノモノ
足	袋	革	革	革	革	革	革	革	革	革	革	手袋	一	綿製又ハ綿入ノモノ	革ト他物トヲ以テ製シタルモノ(綿入ノモノヲ除ク)	二	其ノ他	一	羽毛ヲ填充シタルモノ	二	其ノ他	一	羽毛ヲ填充シタルモノ	二	其ノ他	一	羽毛ヲ填充シタルモノ
四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	革製又ハ綿入ノモノ	二	革製又ハ綿入ノモノ	革製又ハ綿入ノモノ	二	其ノ他	一	羽毛ヲ填充シタルモノ	二	其ノ他	一	羽毛ヲ填充シタルモノ	二	其ノ他	一	羽毛ヲ填充シタルモノ
五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	綿製又ハ綿入ノモノ	三	綿製又ハ綿入ノモノ	綿製又ハ綿入ノモノ	三	其ノ他	一	羽毛ヲ填充シタルモノ	二	其ノ他	一	羽毛ヲ填充シタルモノ	二	其ノ他	一	羽毛ヲ填充シタルモノ
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	綿製又ハ綿入ノモノ	四	綿製又ハ綿入ノモノ	綿製又ハ綿入ノモノ	四	其ノ他	一	羽毛ヲ填充シタルモノ	二	其ノ他	一	羽毛ヲ填充シタルモノ	二	其ノ他	一	羽毛ヲ填充シタルモノ
七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	綿製又ハ綿入ノモノ	五	綿製又ハ綿入ノモノ	綿製又ハ綿入ノモノ	五	其ノ他	一	羽毛ヲ填充シタルモノ	二	其ノ他	一	羽毛ヲ填充シタルモノ	二	其ノ他	一	羽毛ヲ填充シタルモノ
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	綿製又ハ綿入ノモノ	六	綿製又ハ綿入ノモノ	綿製又ハ綿入ノモノ	六	其ノ他	一	羽毛ヲ填充シタルモノ	二	其ノ他	一	羽毛ヲ填充シタルモノ	二	其ノ他	一	羽毛ヲ填充シタルモノ
九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	綿製又ハ綿入ノモノ	八	綿製又ハ綿入ノモノ	綿製又ハ綿入ノモノ	八	其ノ他	一	羽毛ヲ填充シタルモノ	二	其ノ他	一	羽毛ヲ填充シタルモノ	二	其ノ他	一	羽毛ヲ填充シタルモノ
一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	綿製又ハ綿入ノモノ	一〇	綿製又ハ綿入ノモノ	綿製又ハ綿入ノモノ	一〇	其ノ他	一	羽毛ヲ填充シタルモノ	二	其ノ他	一	羽毛ヲ填充シタルモノ	二	其ノ他	一	羽毛ヲ填充シタルモノ

肩掛及襟卷		綿製亞麻製綿亞麻製毛製又ハ毛綿		綿製亞麻製苧麻製毛製又ハ毛綿		綿製亞麻製苧麻製毛製又ハ毛綿		綿製亞麻製苧麻製毛製又ハ毛綿		綿製亞麻製苧麻製毛製又ハ毛綿		綿製亞麻製苧麻製毛製又ハ毛綿		
二	三	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	
其ノ他	其ノ他	其ノ他	其ノ他	其ノ他	其ノ他	其ノ他	其ノ他	其ノ他	其ノ他	其ノ他	其ノ他	其ノ他	其ノ他	
帽子及帽體	貴金属、貴金属ヲ鍍シタル金属、貴石、半貴石、真珠、珊瑚、羽毛、造花等ヲ用井タルモノ	スリーヴサスペンダー及ストラキンガサス	ペンダーノモノ	金屬製ノモノ	帽子及帽體	甲 乙 丙	甲 乙 丙	甲 乙 丙	甲 乙 丙	甲 乙 丙	甲 乙 丙	甲 乙 丙	甲 乙 丙	
從價割	每百斤	同	同	同	從價	從	從	同	同	同	同	同	同	
五	一七八、〇〇	四五	四五	五	一〇二、〇〇	四五、〇〇	一一、四〇	三、五五	四五	四五	七五〇、〇〇	一五九、〇〇	八五三、〇〇	五三〇、〇〇

三八一	唐紙製ノモノ	一	四〇〇	屑紙
三八二	其ノ他	二	四〇一	別號ニ掲ケサル紙製品及パルブ製品
三八三	甲 紙表裝ノモノ	一	四〇二	第十二類 磷物及磷物製品
三八四	乙 其ノ他	二	四〇三	シリカサンド、クオルツサンド其ノ他別號ニ
三八五	書狀用紙(箱入ノモノ)	一	四〇四	掲ケサル砂及礫
三八六	封筒	二	四〇五	一著色シタルモノ
三八七	一 箱入ノモノ(書狀用紙共ノモノヲ含ム)	一	四〇六	二其ノ他
三八八	二 其ノ他	一	四〇七	三其ノ他
三八九	アルバム	二	四〇八	四其ノ他
三九〇	一 草表裝ノモノ	一	四〇九	五其ノ他
三九一	乙 甲 紬製又ハ絹入ノモノ	一	四一〇	六其ノ他
三九二	三 紙表裝ノモノ	一	四一〇	七其ノ他
三九三	四 其ノ他	一	四一〇	八其ノ他
三九四	テス・トペーパー	一	四一〇	九其ノ他
三九五	寫真用パライタペーパー、鷄卵紙及感光紙	一	四一〇	十其ノ他
三九六	一 バライタペーパー	一	四一〇	十一其ノ他
三九七	二 鷄卵紙	一	四一〇	十二其ノ他
三九八	三 プロマイドペーパー及プラチナムペー	一	四一〇	十三其ノ他
三九九	四 ピーオーピー	一	四一〇	十四其ノ他
三九九	五 其ノ他	一	四一〇	十五其ノ他
地圖、海圖及學術圖	カーボンペーパー	一	四一〇	十六其ノ他
紙幣、銀行券利札、株券其ノ他ノ有價證券	金剛砂紙(硝子粉ヲ塗リタルモノヲ含ム)	一	四一〇	十七其ノ他
設計圖	レーベル	一	四一〇	十八其ノ他
書籍、習字本、習畫本、樂譜、新聞、雜誌其ノ他	骨牌	一	四一〇	十九其ノ他
別號ニ掲ケサル印刷物	繪葉書	一	四一〇	二十其ノ他
クリスマスカード類	書畫	一	四一〇	二十一其ノ他
カードカレンダー及プロツクカレンダー	一 印刷シタルモノ	一	四一〇	二十二其ノ他
書籍、習字本、樂譜、新聞、雜誌其ノ他	二 其ノ他	一	四一〇	二十三其ノ他
別號ニ掲ケサル印刷物	二 カードスマスマスカード類	一	四一〇	二十四其ノ他
紙幣、銀行券利札、株券其ノ他ノ有價證券	三 設計圖	一	四一〇	二十五其ノ他
地圖、海圖及學術圖	四	四一〇	二六其ノ他	
三九九	五	四一〇	二七其ノ他	
三九九	六	四一〇	二八其ノ他	
三九九	七	四一〇	二九其ノ他	
三九九	八	四一〇	三十其ノ他	
三九九	九	四一〇	三一其ノ他	
三九九	十	四一〇	三二其ノ他	
三九九	十一	四一〇	三三其ノ他	
三九九	十二	四一〇	三四其ノ他	
三九九	十三	四一〇	四五其ノ他	
三九九	十四	四一〇	五六其ノ他	
三九九	十五	四一〇	六七其ノ他	
三九九	十六	四一〇	六八其ノ他	
三九九	十七	四一〇	六九其ノ他	
三九九	十八	四一〇	七〇其ノ他	
三九九	十九	四一〇	七一其ノ他	
三九九	二十	四一〇	七二其ノ他	
三九九	二十一	四一〇	七三其ノ他	
三九九	二十二	四一〇	七四其ノ他	
三九九	二十三	四一〇	七五其ノ他	
三九九	二十四	四一〇	七六其ノ他	
三九九	二十五	四一〇	七七其ノ他	
三九九	二十六	四一〇	七八其ノ他	
三九九	二十七	四一〇	七八九其ノ他	
三九九	二十八	四一〇	七八九〇其ノ他	
三九九	二十九	四一〇	七八九一其ノ他	
三九九	三十	四一〇	七八九二其ノ他	
三九九	三十一	四一〇	七八九三其ノ他	
三九九	三十二	四一〇	七八九四其ノ他	
三九九	三十三	四一〇	七八九五其ノ他	
三九九	三十四	四一〇	七八九六其ノ他	
三九九	三十五	四一〇	七八九七其ノ他	
三九九	三十六	四一〇	七八九八其ノ他	
三九九	三十七	四一〇	七八九九其ノ他	
三九九	三十八	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	三十九	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	四十	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	四十一	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	四十二	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	四十三	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	四十四	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	四十五	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	四十六	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	四十七	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	四十八	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	四十九	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	五十	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	五十一	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	五十二	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	五十三	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	五十四	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	五十五	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	五十六	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	五十七	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	五十八	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	五十九	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	六十	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	六十一	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	六十二	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	六十三	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	六十四	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	六十五	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	六十六	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	六十七	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	六十八	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	六十九	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	七十	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	七十一	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	七十二	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	七十三	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	七十四	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	七十五	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	七十六	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	七十七	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	七十八	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	七十九	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	八十	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	八十一	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	八十二	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	八十三	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	八十四	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	八十五	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	八十六	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	八十七	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	八十八	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	八十九	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	九十	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	九十一	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	九十二	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	九十三	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	九十四	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	九十五	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	九十六	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	九十七	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	九十八	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	九十九	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百零一	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百零二	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百零三	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百零四	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百零五	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百零六	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百零七	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百零八	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百零九	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百一〇	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百一一	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百一二	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百一三	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百一四	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百一五	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百一六	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百一七	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百一八	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百一九	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百二十	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百二〇	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百二一	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百二二	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百二三	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百二四	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百二五	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百二六	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百二七	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百二八	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百二九	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百三十	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百三〇	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百三一	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百三二	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百三三	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百三四	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百三五	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百三六	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百三七	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百三八	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百三九	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百四十	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百四一	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百四二	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百四三	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百四四	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百四五	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百四六	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百四七	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百四八	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百四九	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百五十	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百五十一	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百五十二	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百五十三	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百五十四	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百五十五	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百五十六	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百五十七	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百五十八	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百五十九	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百六十	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百六十一	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百六十二	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百六十三	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百六十四	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百六十五	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百六十六	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百六十七	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百六十八	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百六十九	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百七十	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百七十一	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百七十二	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百七十三	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百七十四	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百七十五	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百七十六	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百七十七	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百七十八	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百七十九	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百八十	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百八十一	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百八十二	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百八十三	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百八十四	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百八十五	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百八十六	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百八十七	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百八十八	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百八十九	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百九十	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百九十一	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百九十二	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百九十三	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百九十四	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百九十五	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百九十六	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百九十七	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百九十八	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百九十九	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百二十	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百二十一	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百二十二	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百二十三	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百二四	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百二五	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百二六	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百二七	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百二八	四一〇	七八一〇其ノ他	
三九九	一百二九	四一〇	七八一	

乙	厚一五ミリメートルヲ超エサ ルモノ
乙	其ノ他 尋常ノモノ
乙	品鍛有紋其ノ他ノモノ
乙	ノ二 錫鍛シタルモノ(葉鐵及葉 鋼)
乙	ノ一 錫鍛シタルモノ(波形ト否 トヲ別タス)
乙	ノ三 其ノ他
五	線
甲	金屬ヲ鍛セサルモノ
乙	鉛シタルモノ
乙	ノ一 電鍛シタルモノ
乙	ノ二 錫鍛シタルモノ
乙	ノ三 其ノ他
六	七
甲	金屬ヲ鍛セサルモノ
乙	金屬ヲ鍛シタルモノ
甲	金屬ヲ鍛セサルモノ
乙	金屬ヲ鍛シタルモノ
九	帶(鍍鐵)
甲	金屬ヲ鍛セサルモノ
乙	金屬ヲ鍛シタルモノ
甲	金屬ヲ鍛セサルモノ
乙	金屬ヲ鍛シタルモノ
十	線索及撲合線(金屬ヲ鍛シタルト 否トヲ別タス)
十一	バーブドワイヤストワイヤ
十二	筒及管(別號ニ掲ケサルモノ) 金屬ヲ鍛セサルモノ
甲	金屬ヲ鍛セサルモノ
甲	エルボー及ジョイント 不可鍛性ノモノ
甲	ノ二 其ノ他
甲	ノ一 鑄タルモノ
口	抽キタルモノ

四六三	アルミニウム 塊、錠及粒 條、竿及板 線及管	十三 屑及故(改造用ノミニ適スルモノ)	乙 界金属ヲ鍍シタルモノ
四六四	一 塊及錠 條及竿	四 屑及故(改造用ノミニ適スルモノ)	甲 金屬ヲ鍍セサルモノ イ 經〇、五ミリメートルヲ超エサ ルモノ
四六五	二 板 筒及管	五 口 其ノ他	甲 界金属ヲ鍍シタルモノ 乙 金屬ヲ鍍セサルモノ
四六六	一 板 茶鉛 線紐及帶	六 筒及管	甲 界金属ヲ鍍シタルモノ 乙 屑及故(改造用ノミニ適スルモノ)
四六七	二 板 塊及錠 箔及管	七 屑及故(改造用ノミニ適スルモノ)	丙 ニフケルヲ鍍シタルモノ エナメルペーンント、ウアニシニ、漆等 ヲ塗リタルモノ
亞鉛	一 塊及錠 板 茶鉛 線紐及帶	八 屑及故(改造用ノミニ適スルモノ)	甲 ニフケルヲ鍍シタルモノ 乙 エナメルペーンント、ウアニシニ、漆等 ヲ塗リタルモノ
甲 乙 丙	二 板 塊及錠 箔及管	九 屑及故(改造用ノミニ適スルモノ)	其ノ他

從	同	每	從	每	從	同	同	每	從	每	從	同	同	同	同	同	從	每	從	同	百	價	
價		斤	百	斤	百	斤	百	斤	百	斤	價		百	斤	百	斤	二	一	八	五	三	二	〇
二		五	二		無		二	一	二	一	割		一	四	一	二	五	九	八	一	三	二	
		一	三	二			割	四	五	四	五	一	三	八	八	二	五	九	九	二	八	〇	
四、八〇	○、七〇	四、八〇	五、七〇	三、五〇	二、八〇	二、八〇	一、八〇	四、八〇	一、八〇	五、八〇	稅	分	割	五	分	五	〇	〇	〇	〇	〇	一、一	

四六八	三 線及管 ニッケル 四 口 其ノ他
四六九	二 塊及粒 三 線及管
四七〇	一 塊及板 二 條竿及板
四七一	真鍮及青銅 一 塊及錠 二 條及竿 三 板
四七二	五 筒及管 甲 金屬ヲ鍍セサルモノ 乙 卑金属ヲ鍍シタルモノ
四七三	六 箔 七 屑及故(改造用ノミニ適スルモノ)
四七四	日耳曼銀 一 塊及錠 二 條竿及板 三 線及管
四七五	四 鐵 五 屑及故(改造用ノミニ適スルモノ) 六 バビツメタル其ノ他ノアンチクリクシヨンメタル 七 前記ノ金屬ニシテ別號ニ掲ケサル形狀ノモノ及別號ニ掲ケサル金屬 八 一 塊及錠 二 鍍金線 三 其ノ他
四七六	一 塊及錠 二 鍍銀線 三 其ノ他

同	從	同	每	從	同	每	從	同	同	同	同	同	同	每	從	同	從	同	同	同	每	從	每	
			百			百		百		百		百		百		百		百		百		百		
	價		斤		價		斤		斤		價		斤		斤		價		斤		價		斤	
一	四	一	八	一	九	四	一	二	一	三	一	一	一	九	八	七	一	無	無	五	二	一	二	無
割	八	四	一	六	一	六	〇	五	一	二	九	九	九	九	三	五	〇	四	四	〇	五	四	〇	二
	一	六	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	割	割	割	割	割	割	割	割	割	割	割	割	割	割	割	割	稅	稅	稅	分	割	稅	稅	稅

二	一	二	三	四	五
條、笠(アーチ形、アングル形等)、形状ヲ 有スルモノヲ含ム)、板、紐帶、線筒及管	屑及故(改造用ノミニ適スルモノ)	鎗、リベット、螺旋釘、牝牡螺旋釘類(貴金属ヲ 用井タルモノ又ハ貴金属ヲ鍍シタルモノヲ 除ク)	金屬製品	第十五類	二
線索及撫合線	鎗釘	甲 金屬ヲ鍍セサルモノ 乙 其ノ他	一 鐵釘	鎗、リベット、螺旋釘、牝牡螺旋釘類(貴金属ヲ 用井タルモノ又ハ貴金属ヲ鍍シタルモノヲ 除ク)	四七七
鎗釘	鐵釘	二 鐵螺旋釘 三 真鍮螺旋釘及青銅螺旋釘	二 鐵螺旋釘 三 真鍮螺旋釘及青銅螺旋釘	四七八	四七八
金屬網	一 織リタルモノ 甲 鐵製ノモノ(電鍍シタルト否トヲ 別タス) 乙 銅製、真鍮製又ハ青銅製ノモノ(エ ンドレスノモノヲ除ク) 丙 其ノ他	四七九	一 鐵製ノモノ 二 其ノ他	一 鐵製ノモノ 二 其ノ他	四八〇
鐵道建設用材料(別號ニ掲ケサルモノ) 一 リベット、ドチュー(鐵製ノモノ) 二 フレキシブルチュー 三 鐵製ノモノ	一 其ノ他 乙 別タス 丙 其ノ他	四八一	一 其ノ他 二 其ノ他	四八二	四八二

同	同	每	從	每	同	從	每	從	每	同	同	同	同	同	同	每	同	同	同
百	百	斤	百	斤	百	價	百	斤	百	價	百	價	百	斤	百	斤	二	二	二
一	一	八	一	三	三	二	二	一	一	九	五	一	一	五	六	一	二	二	二
五	五	〇	八	〇	九	〇	割	五	七	〇	分	四	一	〇	〇	五	五	五	五
一	一	八	一	三	三	二	二	一	一	九	五	一	一	五	六	一	二	二	二

五五八

四 樂器部分品及附屬品
一 オルガンリード

二 ピアノピニ(弦捲用モノ)

三 其ノ他

五七〇

二 汽罐部分品及同附屬品(別號ニ掲ケサルモノ)
一 メカニカルストーカー二 フランジドボイラープレート及コルゲードウォーターヘーター
一 ゲーテッドボイラーファーネスチュー

三 其ノ他

一 プロパンガス

二 フラッシュガス

三 フラッシュガス

四 フラッシュガス

五 フラッシュガス

五六九

四 電信機電話機及同部分品(別號ニ掲ケサルモノ)
一 モノ二 銃砲及同部分品
一 小銃

二 拳銃

三 其ノ他

四 鐵道車輛(別號ニ掲ケサルモノ)

五 鐵道機關車部分品(鐵道機關車用炭水車部

六 分品其ノ他ノ鐵道車輛部分品(別號ニ掲ケ

七 サルモノ)

八 甲 車輪及車軸

九 乙 機關車用モノ

十 一 ダイヤー

二 パンフレー及スプリング

三 電氣車用調整機

四 其ノ他

五 自動車

六 自動車部分品(原動力機ヲ除ク)

七 別號ニ

八 揭ケサル車輛及同部分品

九 別號ニ

一 機械力又ハ帆ヲ以テ運航スルモノ(頓

二 敷ヲ以テ積量ヲ計算セサルモノヲ除ク)

三 其ノ他

四 別號ニ

五 別號ニ

六 別號ニ

七 別號ニ

八 別號ニ

九 別號ニ

一 別號ニ

二 別號ニ

三 別號ニ

四 別號ニ

五 別號ニ

六 別號ニ

七 別號ニ

八 別號ニ

九 別號ニ

一 別號ニ

二 別號ニ

三 別號ニ

四 別號ニ

五 別號ニ

六 別號ニ

七 別號ニ

八 別號ニ

九 別號ニ

一 別號ニ

二 別號ニ

三 別號ニ

四 別號ニ

五 別號ニ

六 別號ニ

七 別號ニ

八 別號ニ

九 別號ニ

一 別號ニ

二 別號ニ

三 別號ニ

四 別號ニ

五 別號ニ

六 別號ニ

七 別號ニ

八 別號ニ

九 別號ニ

一 別號ニ

二 別號ニ

三 別號ニ

四 別號ニ

五 別號ニ

六 別號ニ

七 別號ニ

八 別號ニ

九 別號ニ

一 別號ニ

二 別號ニ

三 別號ニ

四 別號ニ

五 別號ニ

六 別號ニ

七 別號ニ

八 別號ニ

九 別號ニ

一 別號ニ

二 別號ニ

三 別號ニ

四 別號ニ

五 別號ニ

六 別號ニ

七 別號ニ

八 別號ニ

九 別號ニ

一 別號ニ

二 別號ニ

三 別號ニ

四 別號ニ

五 別號ニ

六 別號ニ

七 別號ニ

八 別號ニ

九 別號ニ

一 別號ニ

二 別號ニ

三 別號ニ

四 別號ニ

五 別號ニ

六 別號ニ

七 別號ニ

八 別號ニ

九 別號ニ

一 別號ニ

二 別號ニ

三 別號ニ

四 別號ニ

五 別號ニ

六 別號ニ

七 別號ニ

八 別號ニ

九 別號ニ

一 別號ニ

二 別號ニ

三 別號ニ

四 別號ニ

五 別號ニ

六 別號ニ

七 別號ニ

八 別號ニ

九 別號ニ

一 別號ニ

二 別號ニ

三 別號ニ

四 別號ニ

五 別號ニ

六 別號ニ

七 別號ニ

八 別號ニ

九 別號ニ

一 別號ニ

二 別號ニ

三 別號ニ

四 別號ニ

五 別號ニ

六 別號ニ

七 別號ニ

八 別號ニ

九 別號ニ

一 別號ニ

二 別號ニ

三 別號ニ

四 別號ニ

五 別號ニ

六 別號ニ

七 別號ニ

八 別號ニ

九 別號ニ

一 別號ニ

二 別號ニ

三 別號ニ

四 別號ニ

五 別號ニ

六 別號ニ

七 別號ニ

八 別號ニ

九 別號ニ

一 別號ニ

二 別號ニ

三 別號ニ

四 別號ニ

五 別號ニ

六 別號ニ

七 別號ニ

八 别號ニ

九 别號ニ

一 别號ニ

二 别號ニ

三 别號ニ

四 别號ニ

五 别號ニ

六 别號ニ

七 别號ニ

八 别號ニ

九 别號ニ

一 别號ニ

二 别號ニ

三 别號ニ

四 别號ニ

五 别號ニ

六 别號ニ

七 别號ニ

八 别號ニ

九 别號ニ

一 别號ニ

二 别號ニ

三 别號ニ

四 别號ニ

五 别號ニ

六 别號ニ

七 别號ニ

八 别號ニ

九 别號ニ

一 别號ニ

二 别號ニ

三 别號ニ

四 别號ニ

五 别號ニ

六 别號ニ

七 别號ニ

八 别號ニ

九 别號ニ

一 别號ニ

二 别號ニ

三 别號ニ

四 别號ニ

五 别號ニ

六 别號ニ

七 别號ニ

八 别號ニ

九 别號ニ

一 别號ニ

二 别號ニ

三 别號ニ

四 别號ニ

五 别號ニ

六 别號ニ

七 别號ニ

八 别號ニ

九 别號ニ

一 别號ニ

二 别號ニ

三 别號ニ

四 别號ニ

五 别號ニ

六 别號ニ

七 别號ニ

八 别號ニ

九 别號ニ

一 别號ニ

二 别號ニ

三 别號ニ

四 别號ニ

五 别號ニ

六 别號ニ

七 别號ニ

八 别號ニ

九 别號ニ

一 别號ニ

二 别號ニ

三 别號ニ

四 别號ニ

五 别號ニ

六 别號ニ

七 别號ニ

八 别號ニ

九 别號ニ

一 别號ニ

二 别號ニ

三 别號ニ

四 别號ニ

五 别號ニ

六 别號ニ

七 别號ニ

八 别號ニ

九 别號ニ

一 别號ニ

二 别號ニ

三 别號ニ

四 别號ニ

五 别號ニ

六 别號ニ

七 别號ニ

八 别號ニ

九 别號ニ

一 别號ニ

二 别號ニ

三 别號ニ

四 别號ニ

五 别號ニ

六 别號ニ

七 别號ニ

八 别號ニ

九 别號ニ

一 别號ニ

二 别號ニ

三 别號ニ

四 别號ニ

五 别號ニ

六 别號ニ

七 别號ニ

八 别號ニ

九 别號ニ

六二六	木製品(別號ニ掲ケサルモノ)
一	貴金屬、貴金屬ヲ鍛シタル金属、貴石、半貴石、眞珠、珊瑚、象牙又ハ鼈甲ヲ用井タルモノ
二	其ノ他
甲	花梨木、鐵刀木、黃楊木、紅木、紫檀及黑檀ノ製品
乙	額縁及天井縁
其ノ他	曲木椅子(簾ヲ張リタルモノ)
水	釘
タードフェルト、タードペーパー其ノ他類似モノ(屋背、船底等ニ用井ルモノニシテ)、	其ノ他
タール、アスフルト、樹脂等ヲ施シタルモノ)、	
ボイラーフェルト、	
インヂアラッパー製品及ガタパーチヤ製品	

同	同	同	每	從	從	每	從	容	每	從	同	同	同	同	每	同	
			百	每	百	百	每	器	百	每	百	同	同	從	百	同	
			斤	價	斤	斤	價	百	斤	價	斤			價	斤		
一	五	三	〇	九	五	六	〇	五	〇	三	〇	八	一	〇	二	一	五
五	五	六	〇	七	四	〇	八	六	五	割	二	七	五	八	〇	三	一
一	五	三	〇	九	五	六	〇	五	〇	三	〇	割	二	一	〇	二	一

